IEEE 1394インターフェイスPCカード

CB1394Lシリーズ

取扱説明書

112423-02

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す場合には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
6) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。
また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
7) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
8) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
9) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
10) お客様は、本製品を一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
11) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
12) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
13) テレビやビデオの映像は著作権法により保護されています。これらの映像は個人で楽しむ以外に利用しないでください。

●I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
●Microsoft,Windows は、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
●i.LINKならびにi.LINKのロゴは、ソニー株式会社の商標です。
●VideoStudio,PhotoImpact,Cool 3D3は、Ulead System社の商標です。
●その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

必ずお守りください

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

警告および注意事項

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

△

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「発火注意」を表す絵表示

⊘

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

●

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告


厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。


分解禁止

本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。

火災や感電、やけど、故障の原因となります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。


電源プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源がある場合は、電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。


発火注意

本製品の取り扱いは、必ず取扱説明書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。火災や故障の原因となります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因となります。


水濡れ注意

本製品を濡らしたり、水気の多い場所で使用しないでください。

お風呂場、雨天・降雪中、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

⚠ 注意



本製品を使用中に誤った操作をしてデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。
故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。



本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。
故障の原因となることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温湿度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●本製品に通風孔がある場合は、その通風孔をふさぐような場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所
- ●保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど）場所



本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●そばで飲食・喫煙などをしない
- ●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない



アクセスランプがある製品では、アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。
故障の原因となったり、データが消失するおそれがあります。

お読みになる前に

呼び方

呼び方	意　味
CB1394Lシリーズ	CB1394LおよびCB1394L/DVCの総称
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Operating System およびMicrosoft® Windows® XP Home Edition Operating Systemの総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98 SE	Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System
Windows	Windows XP、Windows 2000、Windows Meおよび Windows 98 SEの総称
1394	IEEE 1394-1995およびIEEE 1394a-2000の略称
i.LINK	IEEE 1394-1995仕様およびその拡張仕様の名称としてSONYが提唱している呼称

マークの説明



注意
本製品を使う上で、注意すべきことが書かれています。



参考
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

もくじ

必ずお守りください…… i
お読みになる前に…… iv
もくじ…… v

はじめに …… 1

本PCカードおよび接続機器が使えるまでの流れ…… 2
箱の中には…… 4
動作環境…… 6
各部の名前・機能…… 9
特徴…… 10

準備する（使う前の準備） …… 13

Windows 98 SE自体をさらにアップデートする…… 16
本PCカードを取り付ける(Windows XP/2000/Me/98 SE共通)…… 20
ドライバソフトをインストールする …… 22
本PCカードが正常に認識
されているかを確認する(Windows XP/2000/Me/98 SE共通)… 29
ドライバソフトの更新…… 38
「VideoStudio」「PhotoImpact」
をインストールする（CB1394L/DVCのみ）…… 63
COOL 3D3をインストールする（CB1394L/DVCのみ）…… 64
（補足）OS上で本PCカードを取り外す方法 …… 65

DV機器を使う …… 77

基本操作…… 78
内蔵ハードディスクのDMA設定を確認する(Windows 98 SEのみ)… 79
DV機器を接続する…… 82
DV機器が正しく接続されているかを確認する…… 85
DV機器をWindows上から操作する …… 92
DV機器を取り外す場合…… 93

ストレージ機器を使う
（ハードディスクやMOドライブ等を接続する） 95

基本操作 96
ストレージ機器を接続する 97
ストレージ機器が正しく接続されているかを確認する 99
ストレージ機器を取り外す場合 109

ふろく 113

正常に動作しない場合 114
本PCカードに２台以上の機器を接続する場合 120
用語解説 124
仕様 125
オプション品 126

お問い合わせ 127
サービス品に関するお問い合わせ 128
修理について 129

はじめに

本PCカードおよび接続機器が使えるまでの流れ …… 2

ご使用のOSや、ご使用用途により、手順が異なります。
おおまかな手順をここでご確認ください。

箱の中には …… 4

箱の中のものを確認します。

動作環境 …… 6

本製品を使うことができるパソコン環境を説明します。

各部の名前・機能 …… 9

本製品の各部の名前とその機能を確認します。

特徴 …… 10

本製品の特徴や、ご使用方法を提案します。

本PCカードおよび接続機器が使えるまでの流れ

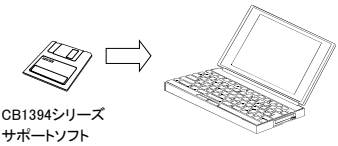
必ず行ってください

はじめに

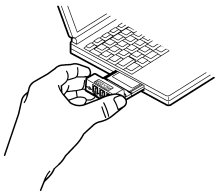
箱の中身を確認します。 ……4ページ
対応しているパソコンや
OSを確認します。 ……6ページ

準備する

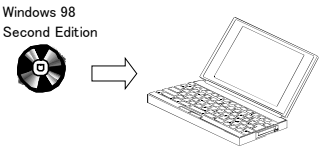
Windows 98 SEをお使いの場合は、
添付の「CB1394シリーズサポートソフト」ディスクで、Windows 98 SEのアップデートを行います。……16ページ



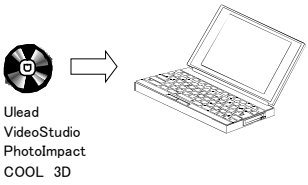
本PCカードをパソコンに取り付けます。
……20ページ



ドライバソフトをインストールします。
……22ページ



CB1394L/DVCの場合は、付属の
「VideoStudio」、「PhotoImpact」や
「COOL 3D」(CD-ROM)をインストール
します。 ……63,64ページ



使ってみよう

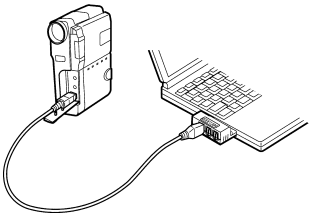
DV機器を使う

基本操作を確認します。……78ページ

DV機器を接続します。……82ページ

DV機器が正しく接続されて
いるかを確認します。
……85ページ

DV機器をWindows上から
操作します。…92ページ

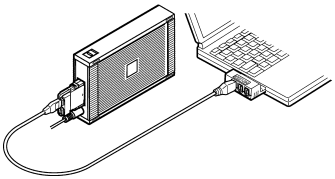


ストレージ機器を使う
（ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸやMOドライブ等を接続する）

基本操作を確認します。……96ページ

1394対応のハードディスク、MOドライブ等のストレージ機器を接続します。
……97ページ

ストレージ機器が正しく接続されて
いるかを確認します。
……99ページ



箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。

☐にチェックをつけながら、ご確認ください。

万一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

参考

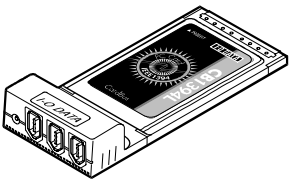
箱・梱包材は

大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

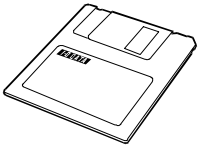
イラストについて

実物と若干異なる場合があります。

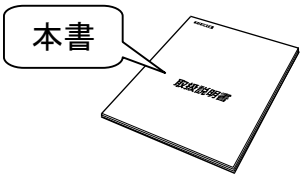
☐ IEEE 1394インターフェイス PCカード



☐ CB1394シリーズサポートソフト



☑ CB1394Lシリーズ取扱説明書



☐ ハードウェア保証書



ユーザー登録とサポートソフトのダウンロードについて

▼ここにシリアル番号をメモしてください。

シリアル番号は本製品の裏面に貼られているシールに印字されている12桁のものです。（ 例： ABC1234567ZX ）

シリアル番号は、ユーザー登録の際に必要です。

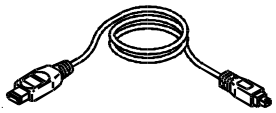
また、弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする際にも必要な場合があります。

●ユーザー登録　⇒http://www.iodata.jp/regist/

●サポートソフトのダウンロード⇒http://www.iodata.jp/lib/

●以下のケーブルおよび＜サービス品＞はCB1394L/DVCのみの添付品です。

☐ DVケーブル
［6ピン⇔4ピン（1.5m）］



＜サービス品＞

以下はすべてサービス品に付き、弊社ではサポート致しかねます。
製品の内容に関してはユーリード社にお問い合わせください。
（別紙『Ulead Systems お客様保管用カード』参照）





☐ CD-ROM（2枚）

「日本語版Ulead VideoStudio 6 SE」※
「日本語版Ulead PhotoImpact 7 SE」を収録
※OEM版のため、店頭販売品と比べて以下の差があります。
・GIFに対応していません。
・サンプルデータ（画像/オーディオ）が入っていません。
「日本語版Ulead COOL 3D3 SE」を収録

☐ **Ulead Systems お客様保管用カード（1枚）**
（お問い合わせ先を記載しています。）

※ Ulead製品の取扱説明書はCD-ROM内にPDFデータとして収録されています。
「日本語版Ulead VideoStudio 6 SE」の場合…
¥UVS6¥Document¥Manual¥Japanese¥VStudio6_OEM.PDF
「日本語版Ulead COOL 3D3 SE」の場合…
¥Manual¥Japanese¥C3c3manual.PDF

サービス品に関するお問い合わせ

添付のサービス品「VideoStudio」、「PhotoImpact」および「COOL 3D」に関しては、ユーリード社まで

●お問い合わせ先
ユーリードシステムズ株式会社ユーザーサポート係

電話番号	**03-5491-5662**
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ	**http://www.ulead.co.jp/**
E-mail	**上記インターネットのサポートページよりお問い合わせください。**

受付時間　　平日 10:00～12:00　13:00～17:00

動作環境

対応機種および対応OS

機種	ＯＳ（日本語版）
CardBus対応PCカード(TypeⅡ)スロット搭載の下記の機種 ・PC98-NXシリーズ ・ DOS/Vマシン	・Windows XP ・Windows 2000 ・Windows Me ・Windows 98 SE

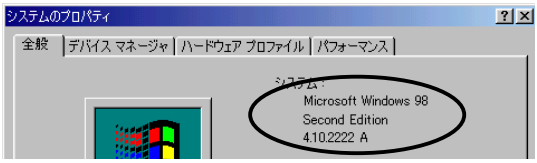
注意

・本PCカードは、Windows XP/2000/Me/98 SEのみ対応です。
※Windows 98をお使いの場合は、Windows 98 SEへのアップグレードが必要です。
Windows 98を含む他のOSからWindows XP/2000/Me/98 SEへの変更方法や制限事項については、パソコン本体メーカーならびにOSメーカー各社へお問い合わせください。
・Windows XP/2000/Me/98 SEがご使用のパソコン本体に対応していないと、本製品が正常に動作しない場合があります。正常に動作しない場合は、一度本体メーカやOSメーカ各社へお問い合わせください。
・パソコン本体の性能によっては、接続したDV機器からの映像のキャプチャやDV機器への書き戻しの際、コマ落ちや音飛びが発生する場合があります。

＜Windows 98 SEの確認方法＞

①［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

②［全般］タブで［システム］欄に**“Microsoft Windows 98 Second Edition”**と表示されていれば、Windows 98 SEです。



DV機器を使用する場合に必要な環境

DV機器を使用する場合に、CB1394L/DVC添付のアプリケーションソフト「Ulead VideoStudio」を動作させるには、Windows XP/2000/Me/98 SEが動作する以外に、更に以下の環境が必要です。

CPU	Intel PentiumⅢ（700MHz以上推奨） （Pentium4 最適化）
メモリ	128Mバイト以上（256Mバイト以上推奨）
ハードディスク	・UltraATA/33以上（内蔵IDEハードディスクの場合） 動画ファイル保存用として以下を推奨 弊社製HDA-iE60、HDA-iE80等 ・500Mバイト以上の空き容量（4Gバイト以上推奨） 500Mバイトは、ドライバソフト等のインストール領域です。 500Mバイト以外に静止画および動画ファイル保存用として空き領域が必要です。 例）・１分間の動画キャプチャには約220Mバイトの空き容量が必要です。（2Gバイトの空き容量がある場合は、約9分30秒の動画キャプチャを行うことができます。） ・静止画１枚につき、１Mバイトの空き容量が必要です。
グラフィック	解像度800×600ハイカラー以上の表示ができること （1024×768フルカラー以上推奨）
CD-ROMドライブ	アプリケーションソフトのインストール用
サウンド環境	音声再生用

注意

・CPU速度、ハードディスクの転送速度、その他使用状況により動画キャプチャ書き戻し時にコマ落ち・音飛びが発生する場合があります。
・DVHS、CSチューナー等には対応しておりません。

動作確認済みのDV機器一覧

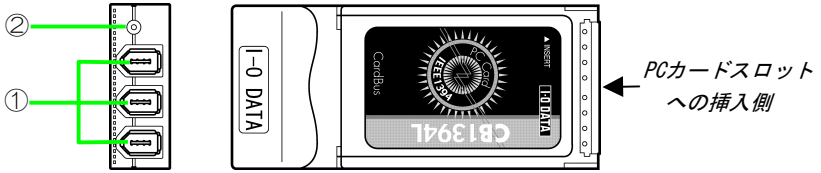
注意

・対応機種は随時更新いたします。最新情報は弊社ホームページ（http://www.iodata.jp/）をご覧ください。
・この一覧表に記載の機種は、Windows 2000およびWindows 98 SEで確認を行った機種です。
Windows XPおよびWindows Meでの確認結果は、弊社ホームページをご覧ください。

メーカー	DV機種名
Canon	DM-FV2, DM-FV10, DM-FV20※1, IXY DV
Panasonic	NV-C3, NV-C7, NV-MX2000, NV-MX3000
SHARP	VL-FD3, VL-PD7, VL-MR1, VL-G1K
SONY	DCR-TRV9, DCR-TRV10, DCR-TRV20, DCR-TRV220K, DCR-TRV620K, DCR-TRV900, DCR-PC5, DCR-TRV8K, DCR-TRV10, DCR-TRV20, DCR-TRV17K, DCR-TRV310K, DCR-TRV220K, DCR-TRV620K, DCR-TRV900, DCR-VX2000, DVMC-DA2
Victor	GR-DV2000, GR-DVA1, GR-DVA10, GR-DVA11K, GR-DVA20K, GR-DVA22K, GR-DVL700, GR-DVP3, GR-DVX5K, GR-DVX7, GR-DVX9, GR-DVY, HR-DVS1

※1 2倍、3倍モードで録画したデータはキャプチャできません。

各部の名前・機能



（側面）　（上面）

No	名前	機能
①	1394ポート (外付機器接続用 ：6ピンタイプ)	1394対応の外付機器を接続するポートです。 どのポートに接続しても構いません。 **・4ピンコネクタタイプの1394機器（主にDV機器）と接続する場合** CB1394L/DVCの場合、添付のDVケーブル(6ピン⇔4ピン)で接続します。 CB1394Lの場合、機器に付属、あるいは市販の1394ケーブル(6ピン⇔4ピン)で接続します。 **・6ピンタイプの1394機器（主にストレージ機器）と接続する場合** 機器に付属、あるいは市販の1394ケーブル(6ピン⇔6ピン)で接続します。
②	電源入力端子	別売オプションのACアダプタ（1394L-ACADP）を接続することにより1394機器の電源供給を行います。 （【オプション品】(126ページ)参照） ※セルフパワーの機器を接続する場合、オプションのACアダプタを接続する必要はありません。

特徴

● デジタル品質の映像・データをパソコンと接続機器間でダイレクト転送

OHCI※準拠IEEE 1394インターフェイスです。
DV(i.LINK)端子搭載のDV機器とパソコンとの双方向のデジタルデータ転送が可能です。

※ Open Host Controller Interfaceの略。

● ６ピンタイプのポートを３ポート用意

● 接続機器への電源供給も可能

1394対応の接続機器には、自ら電源を供給するもの（セルフパワー）と、1394ケーブルから電源供給を受けるもの（バスパワー）の２種類があります。
本PCカードでは、セルフパワーの機器はもとより、別売のACアダプタ※（1394L-ACADP）を使用すればバスパワーの機器を使用することもできます。

※ 別売のACアダプタ（1394L-ACADP）については、【オプション品】(126ページ)参照

● 1394対応のハードディスクやMOドライブ等のストレージ機器にも対応

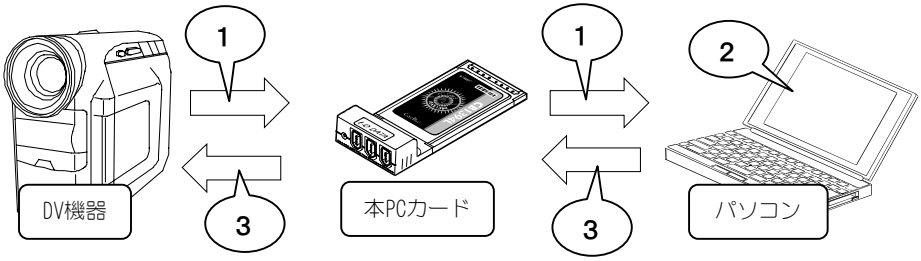
1394に対応のハードディスクやMOドライブ等の外部記憶装置の接続も可能です。

● Plug&PlayやHot Plugに対応し、最大63台の1394機器を接続可能

接続時の Plug&PlayやHot Plugの対応。
増設時のデイジーチェーンやスター型接続の対応など、最大63台の機器を接続できます。
（デイジーチェーン型接続のみの場合には、最大16台まで。詳細は120ページを参照してください。）
また、機器間を接続するケーブル長は最大4.5mまで可能です。
（接続機器によっては接続条件などが発生する場合があります。詳細は、接続機器メーカーにお問い合わせください。）

● DVビデオやDVデッキをつないで、あなたもミニ編集者に…

DVテープからの映像をパソコンに取り込んで、編集およびDVテープへの録画をパソコン上でできます。



① DV機器からパソコンに映像データを読み込む（キャプチャ）
② 読み込んだデータをUlead VideoStudio※で編集する
※ Ulead VideoStudioはCB1394L/DVCにのみ添付。
③ 編集したデータをDV機器に書き込む（録画）

● IEEE 1394対応のストレージ機器（ハードディスクやMOドライブ等）も接続できる

Plug&PlayやHot Plugに対応しておりますので、Windows起動状態でもストレージ機器を接続したり、取り外したりできます。
最大63台の機器を接続できます。（デイジーチェーン型接続のみの場合には、最大16台まで）
機器には、内蔵電源やACアダプタにより自ら電源供給を行うもの（セルフパワー）と1394ケーブルから電源供給を受けるもの（バスパワー）の２種類のタイプが存在します。
本PCカードでは、セルフパワーの機器はもとより、別売のACアダプタ※（1394L-ACADP）を使用すればバスパワーの機器を使用することもできます。
※ 別売のACアダプタ（1394L-ACADP）については、【オプション品】(126ページ)参照。

● 日本語版Ulead VideoStudio 6 SEを添付（CB1394L/DVCのみ）

Ulead VideoStudioは、ホームビデオの編集に最適なアプリケーションソフトです。
ハードディスクへの映像の取り込み（キャプチャ）はもちろん、編集や100種類以上の特殊効果による加工が簡単に行えます。
ビデオにタイトルや見出しを挿入したり重ねたりもできます。
マイクからの肉声や音楽CDから直接BGMを取り込み、映像とリンクすることも可能です。
編集結果をテープに記録することも可能です。

● 日本語版Ulead COOL 3D3 SEを添付（CB1394L/DVCのみ）

Ulead COOL 3D3はWebページ、デジタルビデオ、マルチメディアタイトル、プレゼンテーション、レポートなどに使う3Dタイトルの作成に最適なツールです。
お好きな文字を入力し、時間の経過と文字の位置をドラッグ&ドロップで指定すれば、文字が動画として移動します。さらに、マウスによる複雑な動きや予め用意された「爆発」などの特殊効果を加えることにより画面の中を3Dテキストが思い通りに動き回ります。
個々のオブジェクトにはそれぞれ異なるテクスチャ、色、フォント、斜面、アニメーションパスを指定することができます。さらに、イメージをAVI、JPEG、BMP、GIFアニメーションなどに出力することもできるので、オープニングクレジットやエンディングクレジットに特殊効果を用いたフルフレーム、フルモーションのビデオを作成することができます。

注意

- 「日本語版Ulead VideoStudio 6 SE」、「日本語版Ulead PhotoImpact 7 SE」および「日本語版Ulead COOL 3D3 SE」は、CB1394L/DVCのみ添付しております。
  CB1394Lには添付しておりません。
- 「日本語版Ulead VideoStudio 6 SE」、「日本語版Ulead PhotoImpact 7 SE」および「日本語版Ulead COOL 3D3 SE」は、弊社ではサポートしておりません。これらに関してはユーリード社にお問い合わせください。
  （お問い合わせについては、【サービス品に関するお問い合わせ】(128ページ)を参照してください。）

準備する（使う前の準備）

Windows 98 SE自体をさらにアップデートする(Windows 98 SEのみ) …… 16

Windows 98 SEをお使いの場合は、添付のサポートソフトでWindows 98 SE自体をさらにアップデートする必要があります。

本PCカードを取り付ける (Windows XP/2000/Me/98 SE共通) …… 20

本PCカードをPCカードスロットに取り付けます。

ドライバソフトをインストールする …… 22

本PCカードを使えるようにするためのドライバソフトをインストールします。

本PCカードが正常に認識されているかを確認する(Windows XP/2000/Me/98 SE共通) …… 29

本PCカードが正しくパソコンに認識（接続）されているかどうかを確認します。

ドライバソフトの更新 …… 38

さらにドライバソフトのインストールのつづきを行います。

「VideoStudio」「PhotoImpact」をインストールする (CB1394L/DVCのみ) …… 63

CB1394L/DVCに添付の「日本語版Ulead VideoStudio」や「日本語版Ulead PhotoImpact」をインストールします。

「COOL 3D3」をインストールする (CB1394L/DVCのみ) …… 64

CB1394L/DVCに添付の「日本語版Ulead COOL 3D3」をインストールします。

（補足）OS上で本PCカードを取り外す方法 …… 65

本PCカードをご使用いただくにあたり、一部の機能に制限などが発生する場合があります。
また、操作方法によっては機器およびディスクの破損もしくはデータの消失、またはWindowsの正常動作の妨げとなりますので以下の注意事項を良くお読みいただきご使用ください。



本PCカードは、Windows XP/2000/Me/98 SEのみ対応です。
※Windows 98をお使いの場合は、Windows 98 SE以降のOSへのアップグレードが必要です。
Windows 98を含む他のOSからWindows XP/2000/Me/98 SEへの変更方法や制限事項については、パソコン本体メーカーならびにOSメーカー各社へお問い合わせください。



1394機器に関する注意事項

1394機器のつなげ方、取り外し方、および使い方については、各1394機器の取扱説明書を参照してください。誤った操作方法は機器およびディスクの破損、もしくはデータの消失、またはWindowsの正常動作の妨げとなりますのでご注意ください。

・1394機器は電源をオンにしてから、本製品につなげてください。
1394機器の電源がオフの状態で本製品につなげると、
→1394機器が認識されないなどの現象が発生し、正常動作いたしません。
・1394機器の動作中に、ケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。
・複数の1394機器をつないだ場合、他の機器が動作している時に動作していない機器のケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。また、1394機器の動作中に、他の1394機器を接続することも正常動作の妨げになる場合があります。

※ 1394機器が正常に動作しない場合や認識されない場合は、いったんケーブルを抜いてから1394機器の電源の入れ直しを行い、1394機器の電源がオンの状態で再度接続してください。また、接続する1394機器によっては上記以外の制限事項がありますので、必ず各1394機器の取扱説明書も参照してください。
※ アプリケーション等から1394機器が認識されない場合は、Windowsを再起動してお試ください。

スタンバイモードの制限事項

本製品はスタンバイモードには対応しておりません。スタンバイモードはあらかじめ無効にしてください。

● Windows XPの場合

1. [スタート]→[コントロールパネル]を順にクリックします。
2. [電源オプション]をダブルクリックし、[電源設定]タブの[システムスタンバイ]の設定を［なし］に設定してください。
   （「システムスタンバイ」の設定が表示されない機種もあります。その場合は特に設定はありません。）
   （[スタート]→[終了オプション]→[スタンバイ]は実行しないでください。([スタンバイ]が表示されない機種もあります。)）

● Windows 2000の場合

1. [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックします。
2. [電源オプション]をダブルクリックし、[電源設定]タブの[システムスタンバイ]の設定を［なし］に設定してください。
   （「システムスタンバイ」の設定が表示されない機種もあります。その場合は特に設定はありません。）
   （[スタート]→[シャットダウン]→[スタンバイ]は実行しないでください。([スタンバイ]が表示されない機種もあります。)）

● Windows Me/98 SEの場合

1. [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックします。
2. [電源の管理]をダブルクリックし、[システムスタンバイ]の設定を[なし]に設定してください。
   （[スタート]→[Windowsの終了]→[スタンバイ]は実行しないでください。）

Windows 98 SE自体をさらにアップデートする（Windows 98 SEのみ）

Windows XP、Windows 2000
Windows Meの場合

【本PCカードを取り付ける】
20ページへ

Windows 98 SEをお使いの場合は、Windows 98 SE自体を更にアップデートする必要があります。

アップデートは添付の「CB1394シリーズサポートソフト」で行います。

※このソフトウェアは、Windows 98をWindows 98 SEにアップデートするソフトウェアではありません。

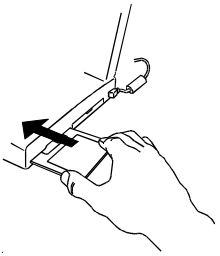
※フロッピーディスクドライブのない機種の場合、[スタート]から[Windows Update]を実行する方法もあります。ただし、インターネットへの接続環境が必要です。

注意

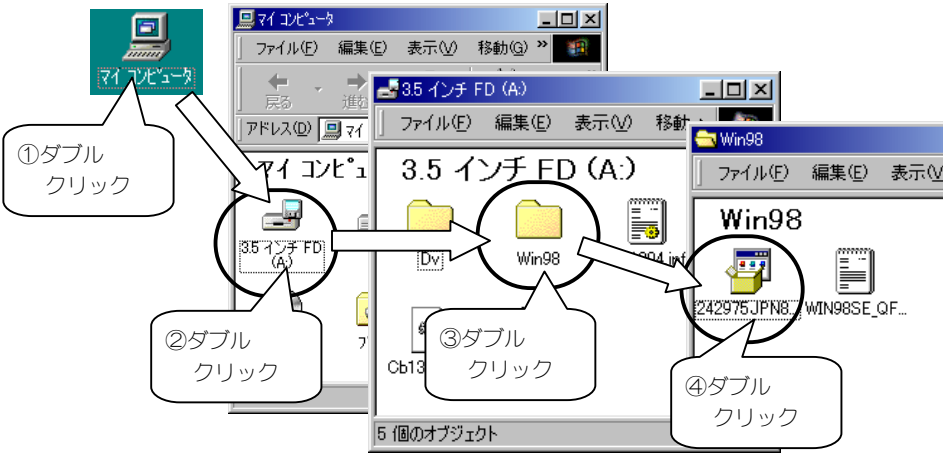
ここではまだパソコンに本PCカードを取り付けないでください。

1 **Windows 98 SEを起動します。**

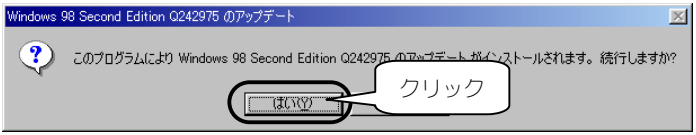
2 **「CB1394シリーズサポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。**



3 [マイコンピュータ]→[3.5インチFD]→[Win98]→[242975JPN8]を順にダブルクリックします。

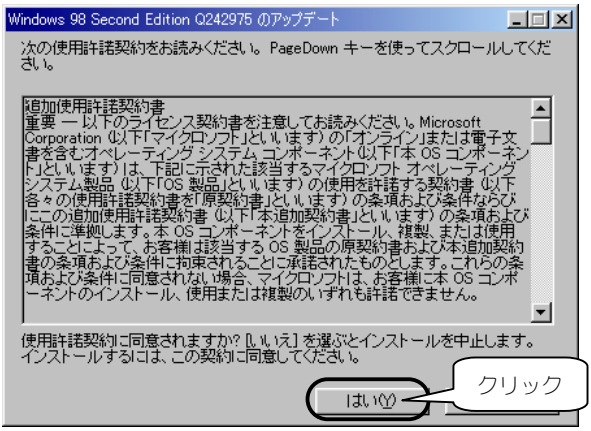


4 [はい]ボタンをクリックします。



5 内容に同意するなら、[はい]ボタンをクリックします。

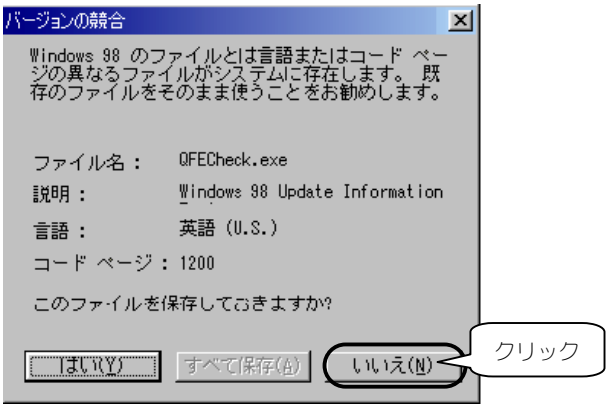
使用許諾契約書の内容に同意する場合のみ、［はい］ボタンをクリックします。



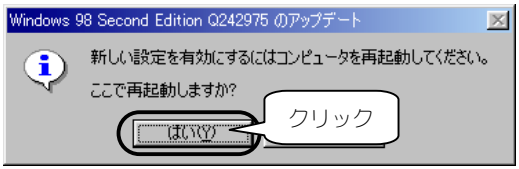
注意

このアップデートを行うと、元に戻すことはできません。内容をしっかりとご覧ください。

6 以下の画面が表示された場合は、[いいえ]ボタンをクリックします。



7 [はい]ボタンをクリックし、パソコンを再起動します。



以上でWindows 98 SEのアップデートは終了です。

本PCカードを取り付ける
（Windows XP/2000/Me/98 SE共通）

ここでは、本PCカードをパソコンのPCカードスロットへ取り付ける手順について説明します。

注意

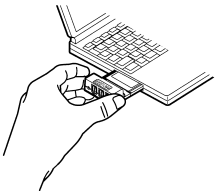
・ここではまだ本PCカードに1394機器は接続しないでください。
・【ドライバソフトをインストールする】(22ページ)のWindows 98 SEでのドライバソフトのインストールには、CD-ROMドライブが必要な場合があります。
Windows 98 SEがプリインストールされていないモデルで、PCカード経由のCD-ROMドライブをお使いの場合で、PCカードスロットが１つしか無い場合は、以下の手順を行う前に、先に「Windows 98 SE」CD-ROMから以下のファイルをパソコンの任意のフォルダにコピーしておく必要があります。

CD-ROM内の WIN98フォルダ内にある BASE6.CABファイル

コピー後、【ドライバソフトをインストールする】(22ページ)でその任意のフォルダを指定します。

1 **Widowsを起動します。**

2 **本PCカードをラベル面を上にして、PCカードスロットに挿入します。**
奥まで確実に挿入してください。



挿入時のポイント

・パソコンの電源が入っている状態で、本 PC カードを挿入します。
・必ずカードのラベル面を上にして挿入してください。
・イジェクトボタンが飛び出すまで、しっかりと奥まで挿入してください。
・２段の PC カードスロットの場合で、本製品以外に他の PC カードも同時に使用する場合には、本製品を上側の PC カードスロットに挿入してください。
※他の PC カードの形状によっては、上側の PC カードスロットに挿入できない場合があります。その場合、同時に使用することはできません。

この後、以下へお進みください。

Windows XP、Windows 2000、Windows Meの場合



【本PCカードが正常に認識されているかを確認する】
29ページへ

Windows 98 SEの場合



次ページへ

ドライバソフトをインストールする

Windows XP、Windows 2000、Windows Meの場合

【本PCカードが正常に認識されているかを確認する】29ページへ

Windows XP/2000/Meの場合は、【本PCカードが正常に認識されているかを確認する】(29ページ)へお進みください。
Windows 98 SEの場合は、次ページから作業をお進めください。

ドライバソフトとは？

各種ハードウェアを制御するソフトウェアです。
一般に新たなハードウェアを追加する場合、Windowsに標準的に組み込まれている以外は、ドライバソフトも追加登録する必要があります。
また、追加登録することを「インストールする」といいます。



インストール前のポイント

①「Windows 98 SE」の CD-ROM をご用意ください。
インストール時に、「Windows 98 SE」CD-ROM が必要な場合があります。
②本 PC カードが正しく取り付けられているかを確認してください。
③1394 機器はまだ接続しないでください。

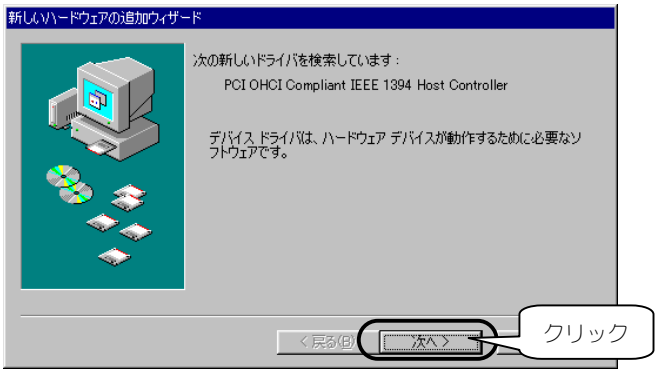


ここではまだ本PCカードにDVカメラ等の1394機器は接続しないでください。

※ 機器を接続したまま、パソコンの電源を入れた場合は正常にインストールできない場合があります。
1394機器を接続したままパソコンの電源を入れた場合は、次ページの手順**2**で［キャンセル］ボタンをクリックし、Windows 98 SEを終了後、機器を取り外し、再度パソコンを起動してください。

1 以下の画面が表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。

[PCI OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller]と表示されていることを確認してください。

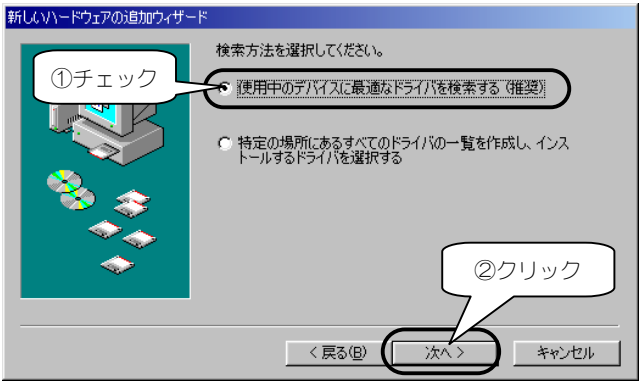




このインストール画面が表示されない場合は…

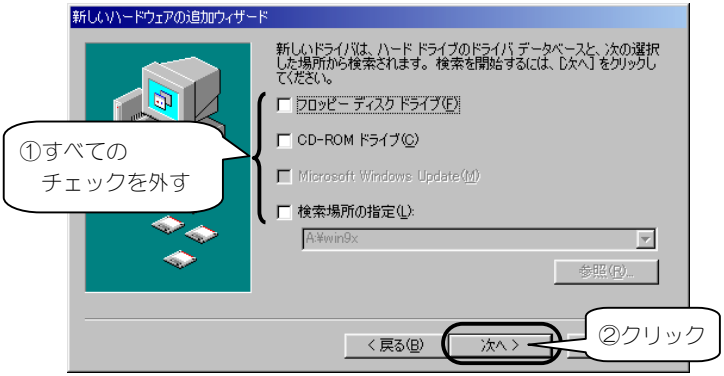
115 ページ「インストール画面が表示されない」をご参照ください。

2 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



3 **すべてのチェックを外し、[次へ]ボタンをクリックします。**

※ 選択肢のチェックを入れる必要はありません。（選択されている場合はすべてのチェックを外してください。）



4 **以下の画面が表示される場合があります。**

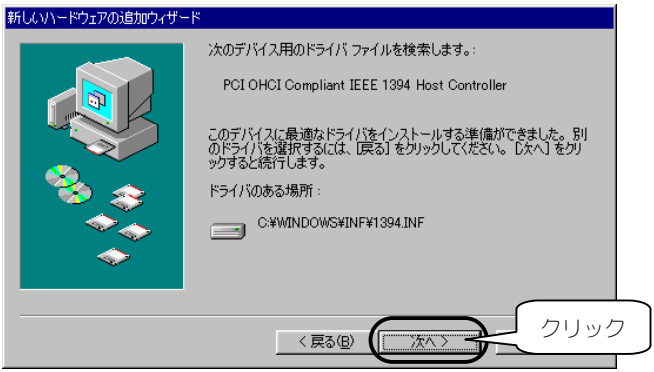
表示されない場合 ⇒ そのまま手順5（次ページ）へお進みください。

表示された場合 ⇒ [更新されたドライバ（推奨）]をチェックして[次へ]ボタンをクリックします。



5 [次へ]ボタンをクリックします。

ファイルのコピーが始まります。



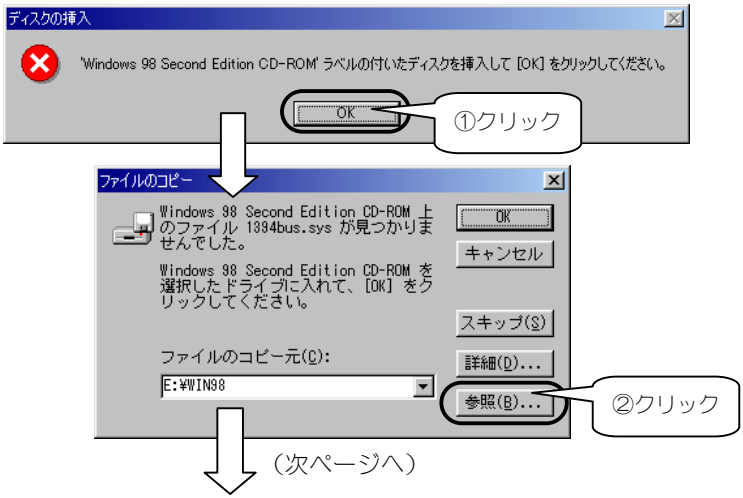
6 [ディスクの挿入]画面が表示される場合があります。

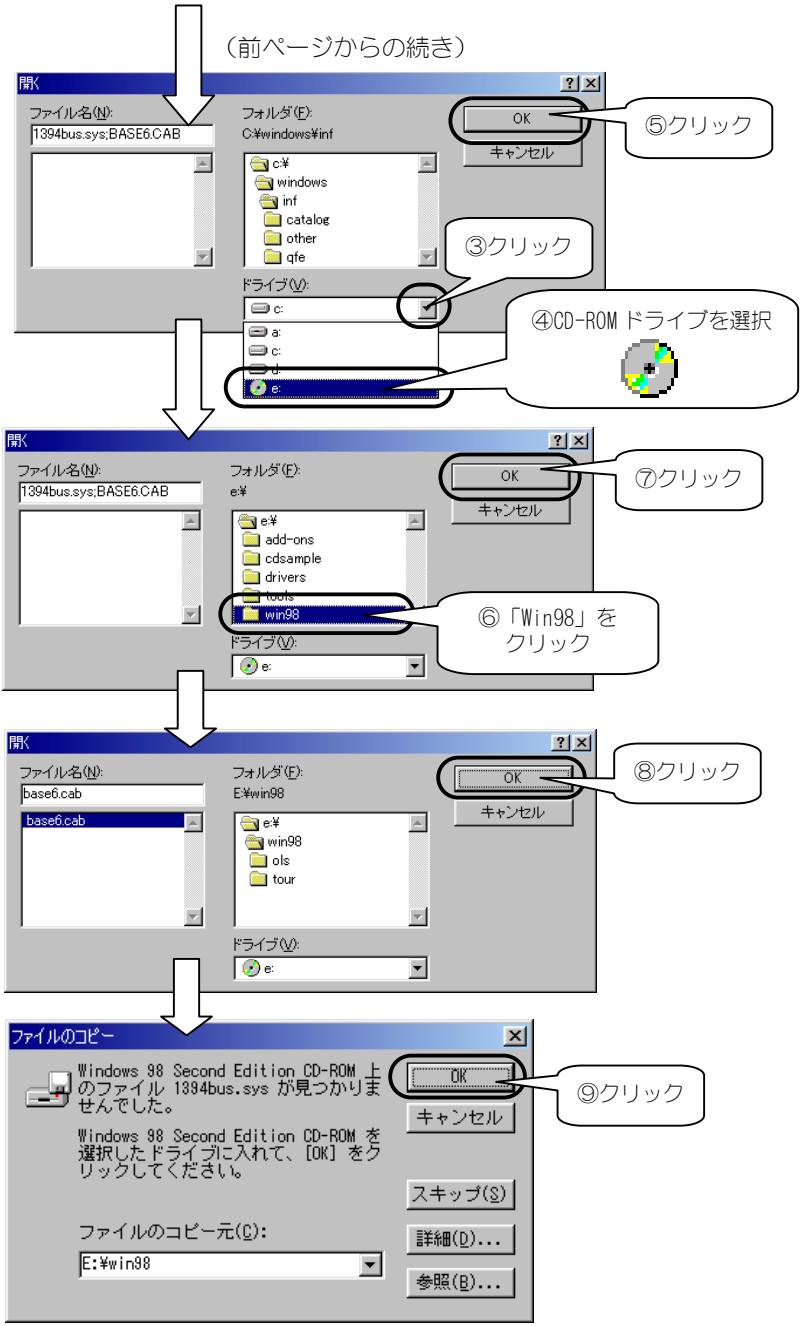
表示されない場合 ⇒ そのまま手順7(27ページ)へお進みください。

表示された場合

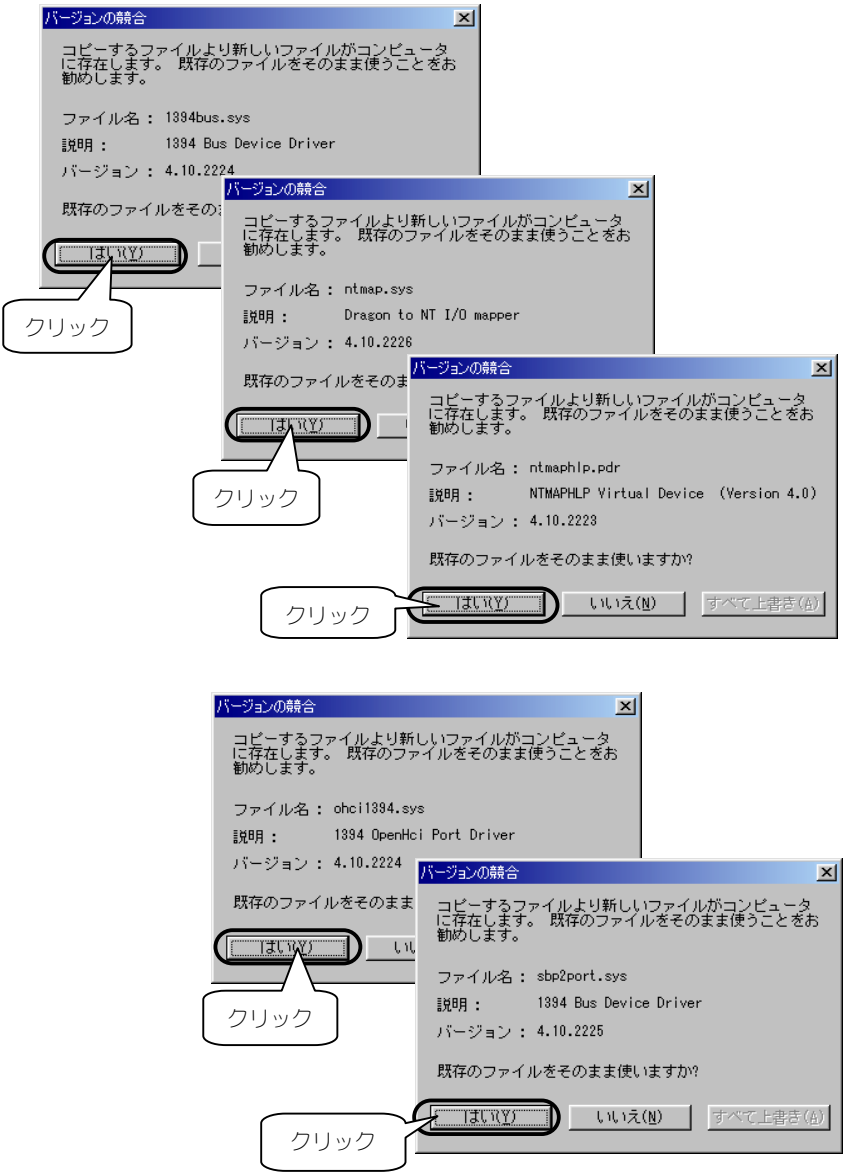
⇒「Windows 98 SE」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、[OK]ボタンをクリックします。

[ファイルのコピー]画面で、[参照]ボタンをクリックして、CD-ROM ドライブ(ここではE:)内の「Win98」フォルダを指定します。指定後、[OK]ボタンをクリックします。




（前ページからの続き）
開く
ファイル名(N):
1394bus.sys;BASE6.CAB
フォルダ(F):
C:¥windows¥inf
OK
キャンセル
⑤クリック
c:¥
windows
inf
catalog
other
qfe
③クリック
ドライブ(V):
c:
a:
c:
d:
e:
④CD-ROM ドライブを選択
開く
ファイル名(N):
1394bus.sys;BASE6.CAB
フォルダ(F):
e:¥
OK
キャンセル
⑦クリック
e:¥
add-ons
cdsample
drivers
tools
win98
⑥「Win98」をクリック
ドライブ(V):
e:
開く
ファイル名(N):
base6.cab
フォルダ(F):
E:¥win98
OK
キャンセル
⑧クリック
base6.cab
e:¥
win98
ols
tour
ドライブ(V):
e:
ファイルのコピー
Windows 98 Second Edition CD-ROM 上のファイル 1394bus.sys が見つかりませんでした。
Windows 98 Second Edition CD-ROM を選択したドライブに入れて、[OK] をクリックしてください。
OK
キャンセル
⑨クリック
スキップ(S)
詳細(D)...
参照(B)...
ファイルのコピー元(C):
E:¥win98

7 以下の[バージョンの競合]画面が表示された場合は、すべて[はい]ボタンをクリックします。



8 [完了]ボタンをクリックします。



9 手順6で「Windows 98 SE」CD-ROMを使用した場合は、CD-ROMを取り出します。

次に、本PCカードがパソコンに正常に認識されているかを確認します。その後、さらにインストール作業がつづきます。次ページへお進みください。

参考

すべてのインストールが正常に終了すると、次回からはそのまま使用できます。（次回起動時からは、23ページの手順1以降のインストール画面は表示されません。）

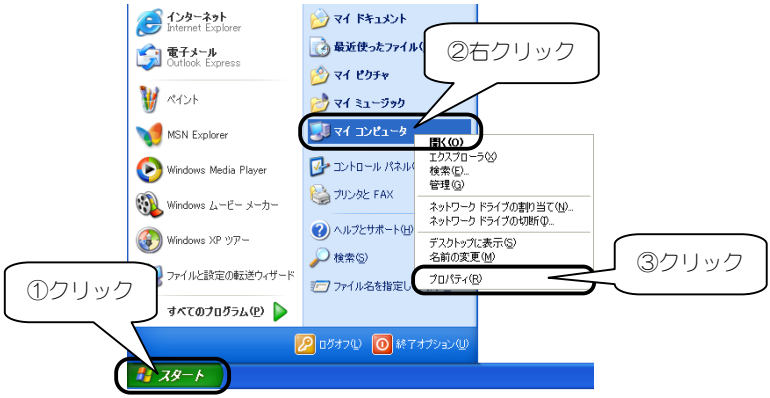
本PCカードが正常に認識されているかを確認する（Windows XP/2000/Me/98 SE共通）

本PCカードを取り付け後、正常にパソコンに認識されているか、確認してみましょう。
その後、ひきつづきインストール作業をつづけます。

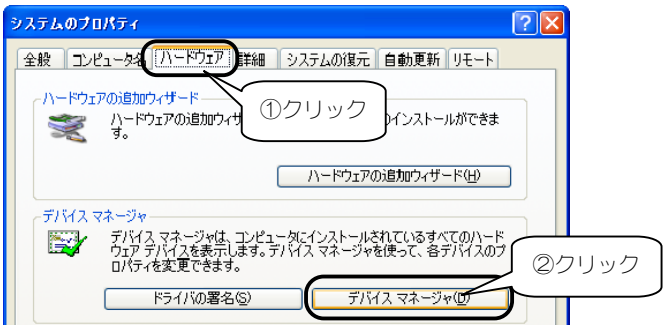
・Windows XPの場合は以下を参照してください。
・Windows 2000の場合は31ページを参照してください。
・Windows Meの場合は33ページを参照してください。
・Windows 98 SEの場合は36ページを参照してください。

Windows XPの場合

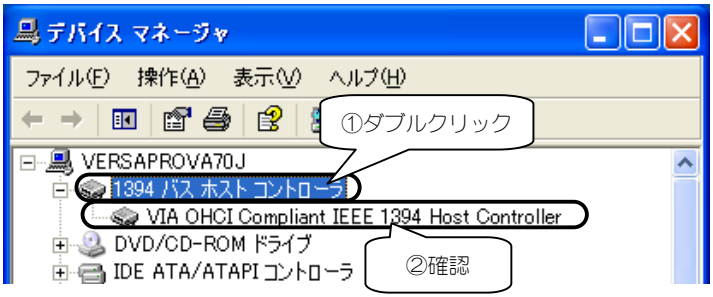
1 **[スタート]をクリックし、[マイコンピュータ]を右クリックして表示されたメニューの[プロパティ]をクリックします。**

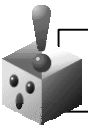


2 **[ハードウェア]タブ、続けて[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。**



3 **[1394バスホストコントローラ]をダブルクリックし、[VIA OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller]が登録（表示）されていることを確認します。**





[1394 バスホストコントローラ]が見当たらない場合は…

115 ページ「[1394 バスホストコントローラ]の…」をご参照ください。

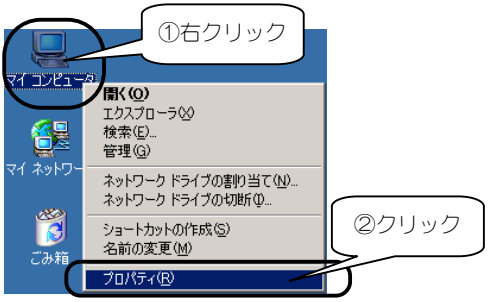
この後、【ドライバソフトの更新】(38ページ)の手順を行ってください。



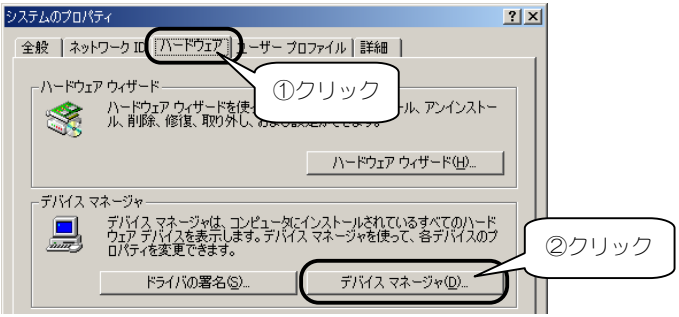
【ドライバソフトの更新】(38ページ)の手順を行うと、上記手順**3**で登録されているドライバソフト（VIA OHCI Compliant IEEE‥‥）は、[I-O DATA CB1394 IEEE 1394 CardBus Card]となります。

Windows 2000の場合

1 **[マイコンピュータ]を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。**



2 **[ハードウェア]タブ、続けて[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。**



3 [1394バスホストコントローラ]をダブルクリックし、[VIA OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller]が登録（表示）されていることを確認します。





[1394 バスホストコントローラ]が見当たらない場合は…

115 ページ「[1394 バスホストコントローラ]の…」をご参照ください。

この後、【ドライバソフトの更新】(38ページ)の手順を行ってください。

参考

【ドライバソフトの更新】(38ページ)の手順を行うと、上記手順3で登録されているドライバソフト（VIA OHCI Compliant IEEE‥‥）は、[I-O DATA CB1394 IEEE 1394 CardBus Card]となります。

Windows Meの場合

デバイスマネージャを開きます。以下の２種類の方法のうちいずれかで開いてください。

＜方法１＞

1 [マイコンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

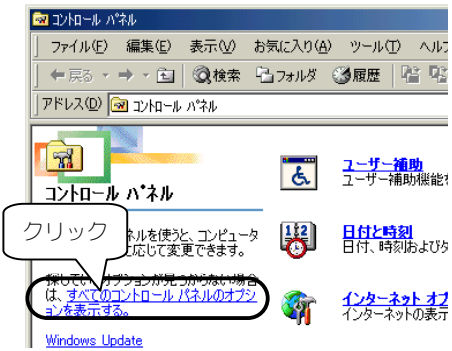
2 [デバイスマネージャ]タブをクリックします。

3 34ページ手順４へ進みます。

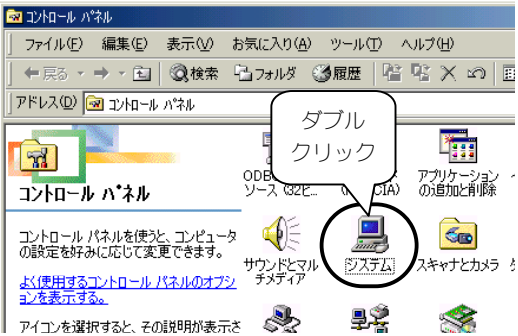
＜方法２＞

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]をクリックします。

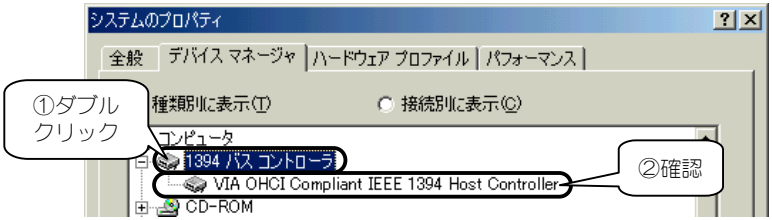
2 [すべてのコントロールパネルのオプションを表示する]をクリックします。



3 **[システム]をダブルクリックし、[デバイスマネージャ]タブをクリックします。**



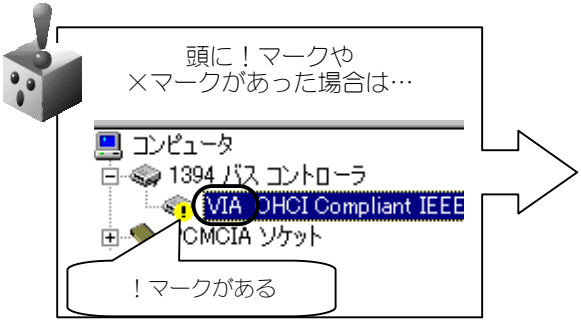
4 **[1394 バスコントローラ]をダブルクリックし、[VIA OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller]が登録（表示）されていることを確認します。**



[1394 バスコントローラ]が見当たらない場合は…

115 ページ「[1394 バスコントローラ]の…」をご参照ください。

5 [VIA OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller]の頭に！マークや×マークがないことも確認します。



116 ページ「[PCI OHCI Compliant IEEE…]もしくは…」をご参照ください。

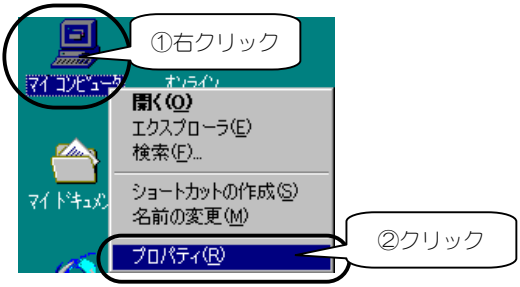
この後、【ドライバソフトの更新】(38ページ)の手順を行ってください。

参考

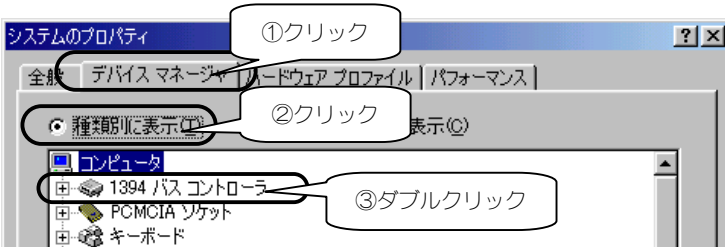
【ドライバソフトの更新】(38ページ)の手順を行うと、前ページ手順4で登録されているドライバソフト（VIA OHCI Compliant IEEE‥‥）は、[I-O DATA CB1394 IEEE 1394 CardBus Card]となります。

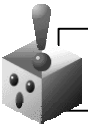
Windows 98 SEの場合

1 **[マイコンピュータ]を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。**



2 **[デバイスマネージャ]タブをクリックし、[種類別に表示]で[1394 バスコントローラ]をダブルクリックします。**





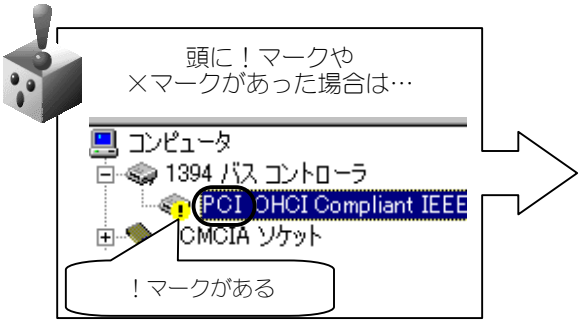
[1394 バスコントローラ]が見当たらない場合は…

115 ページ「[1394 バスコントローラ]の…」をご参照ください。

3 [PCI OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller]が登録（表示）されていることを確認します。



4 [PCI OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller]の頭に！マークや×マークがないことも確認します。



116 ページ「[PCI OHCI Compliant IEEE…]もしくは…」をご参照ください。

この後、【ドライバソフトの更新】（次ページ）の手順を行ってください。

参考

【ドライバソフトの更新】（次ページ）の手順を行うと、上記手順3で登録されているドライバソフト（PCI OHCI Compliant IEEE・・・・）は、[I-O DATA CB1394 IEEE 1394 CardBus Card]となります。

ドライバソフトの更新

ひきつづきドライバソフトのインストールを行います。



・DV機器によっては、書き戻しに対応していない機器があります。
その場合、ドライバソフトの更新を行っても書き戻しはできません。
ご使用のDV機器が書き戻しに対応しているかどうかについては、DV機器の取扱説明書を参照してください。
・パソコンの機種（CardBusコントローラ）によっては、ドライバソフトの更新を行っても書き込み/書き戻しができない機種もあります。

● **インストール手順はご使用のOSにより異なります。**

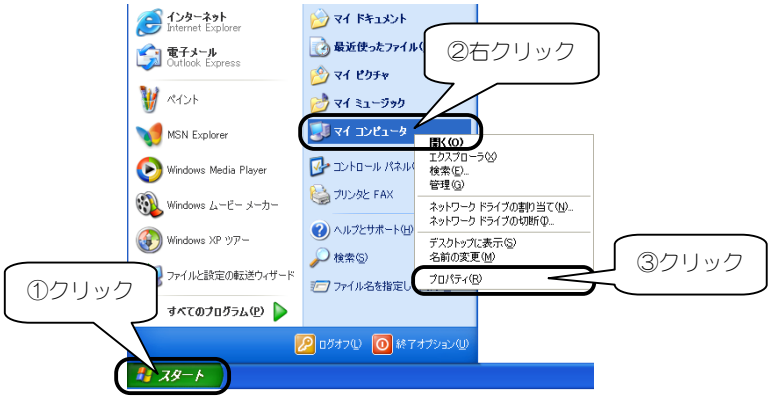
Windows XPの場合 → **次ページへ**

Windows 2000の場合 → **47ページへ**

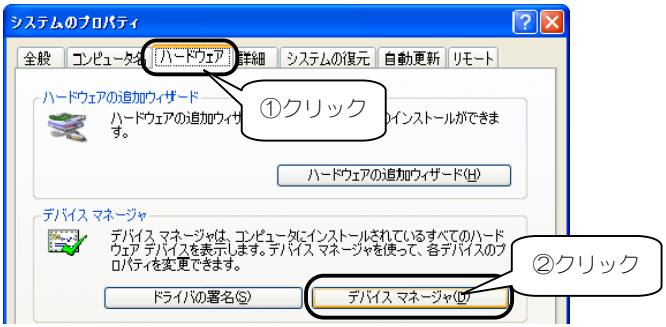
Windows Me/98 SEの場合 → **55ページへ**

Windows XPでのドライバの更新

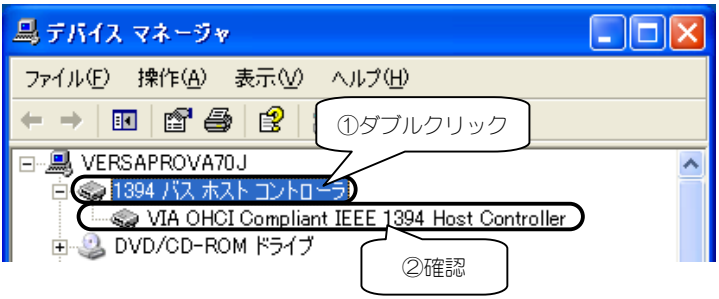
1 [スタート]をクリックし、[マイコンピュータ]を右クリックして表示されたメニューの[プロパティ]をクリックします。



2 [ハードウェア]タブ、続けて[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。



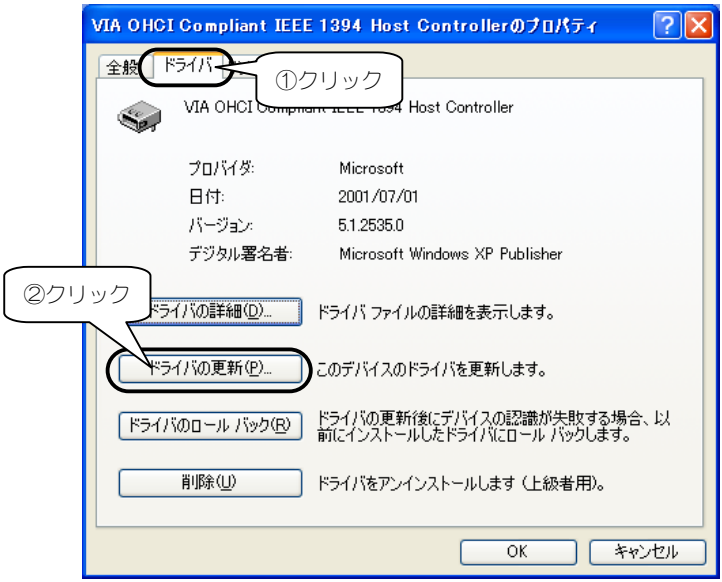
3 [1394バスホストコントローラ]をダブルクリックし、[VIA OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller]をダブルクリックします。



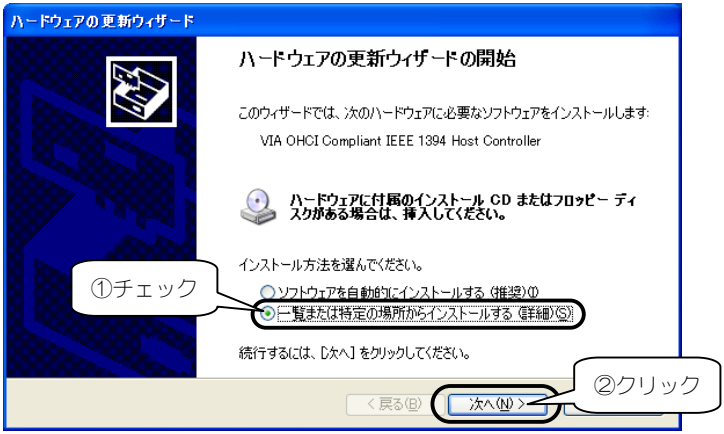
[1394 バスホストコントローラ]が見当たらない場合は…

115 ページ「[1394 バスホストコントローラ]の…」をご参照ください。

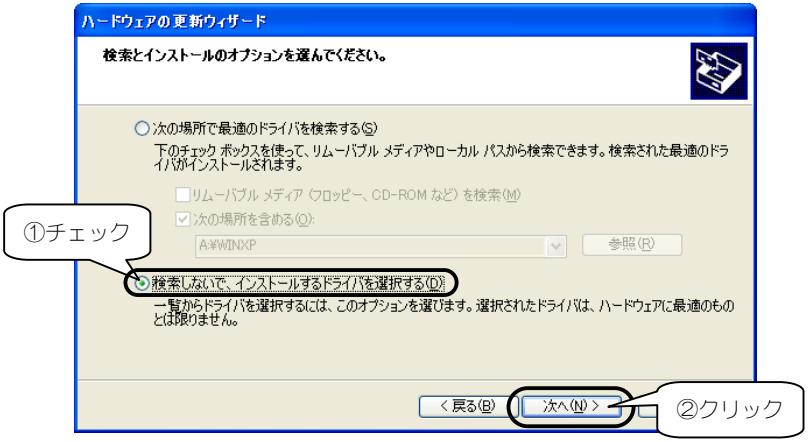
4 [ドライバ]タブをクリックし、[ドライバの更新]ボタンをクリックします。



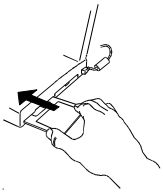
5 [一覧または特定の場所・・・・・]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



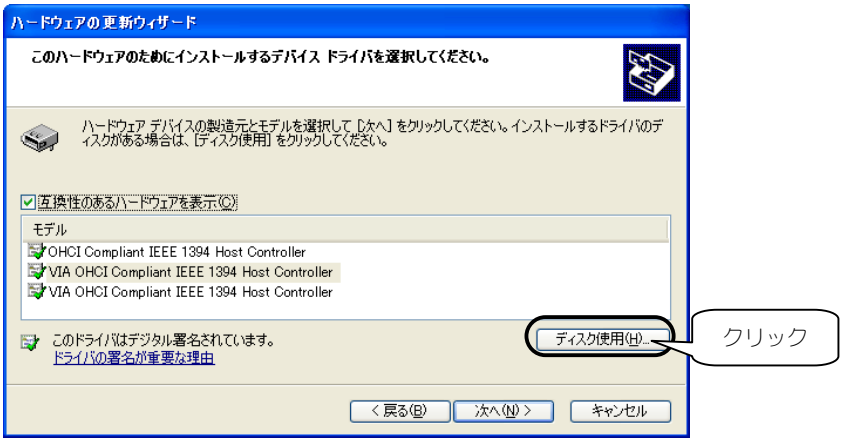
6 [検索しないで、インストール・・・・・]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。



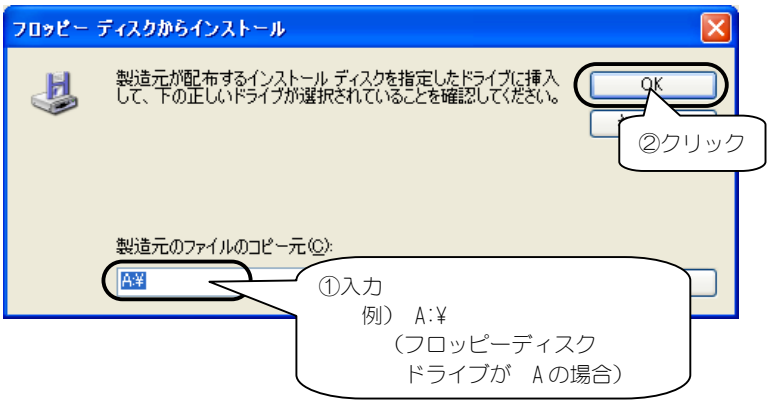
7 「CB1394シリーズサポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。



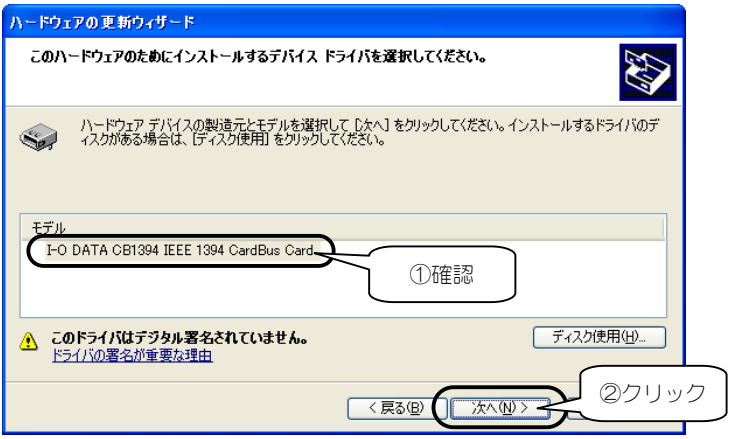
8 [ディスク使用]ボタンをクリックします。



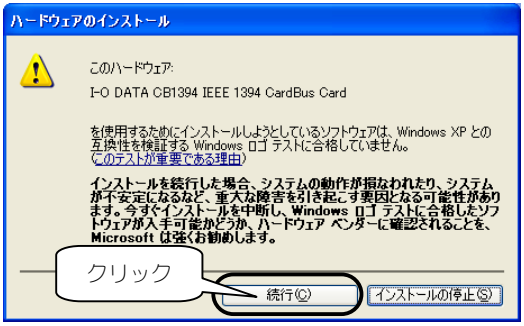
9 [製造元のファイルのコピー元]にフロッピーディスクドライブ名（以下の画面では A:¥ ）を入力し、[OK]ボタンをクリックします。



10 **モデル欄に[I-O DATA CB1394 IEEE 1394 CardBus Card]と表示されていることを確認後、[次へ]ボタンをクリックします。**



11 **以下の画面では、[続行]ボタンをクリックします。**



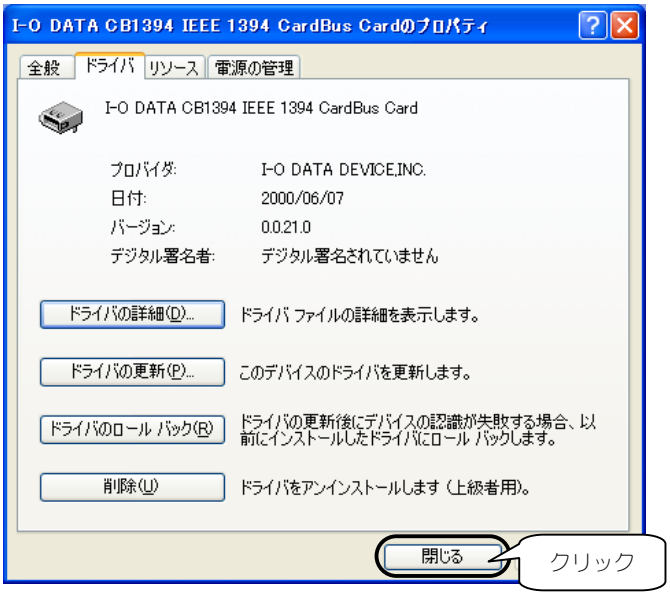
参考

弊社製ソフトウェアが確認された時点でマイクロソフトが認証するソフトウェアでは無いというメッセージが表示されますが、特に問題ありませんのでそのまま続行します。
→マイクロソフト社は、WHQLという組織においてパソコン本体や周辺機器などを対象に認定手続きを実施しております。このたびお買い上げいただいた製品は現時点では認定を受けておりませんが、問題なくご利用いただけます。

12 [完了]ボタンをクリックします。



13 [閉じる]ボタンをクリックします。



14 ［デバイスマネージャ］画面を閉じます。

以上でドライバの更新は終了です。

●更新後のドライバの表示について

更新が正常に終了すると、デバイスマネージャでの表示、および本PCカードの取り出し時には、本PCカードのドライバ名は以下のように変更されます。

［VIA OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller］

⇩

［I-O DATA CB1394 IEEE 1394 CardBus Card］

インストールが正常ならば

CB1394L/DVCをお使いの場合

この後、「VideoStudio」、「PhotoImpact」および「COOL 3D3」をインストールします。63,64ページへお進みください。

CB1394Lをお使いの場合

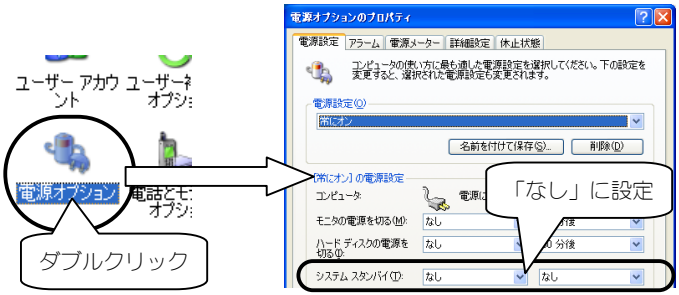
この後、お持ちのストレージ機器を接続します。
【ストレージ機器を使う】(95ページ)へお進みください。

注意

本PCカードは、Windows XPのACPI規格には対応しておりません。
従って、本PCカードを取り付けた状態では以下にご注意ください。

・スタンバイ機能は無効に設定してください。

1. [スタート]→[コントロールパネル]を順にクリックします。
2. [電源オプション]をダブルクリックし、[電源設定]タブの[システムスタンバイ]の設定を［なし］に設定してください。
（「システムスタンバイ」の設定が表示されない機種もあります。その場合は特に設定の必要はありません。）



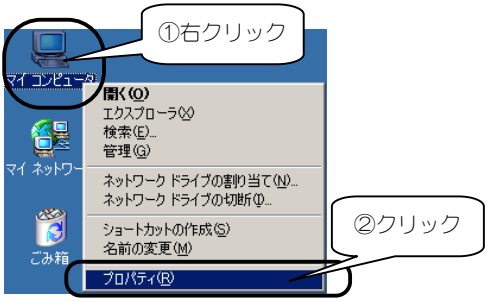
・[スタート]→[終了オプション]→[スタンバイ]は実行しないでください。
([スタンバイ]が表示されない機種もあります。)

ACPIとは?

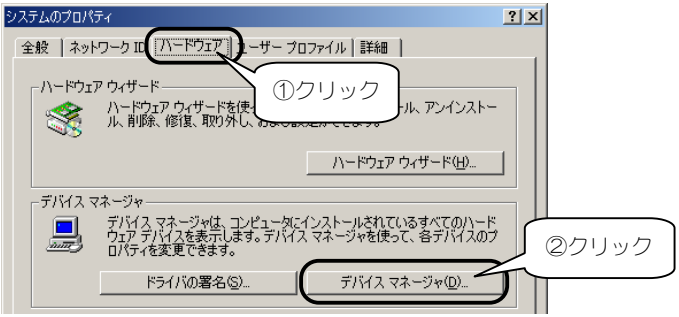
米マイクロソフト社、米インテル社、東芝の3社が提唱しているパソコンの省電力モードなどの電力制御や、パソコンに接続される家庭電化製品の電源の制御などを、OS(オペレーティング･システム)から行うことができる低消費電力機構の規格です。

Windows 2000でのドライバの更新

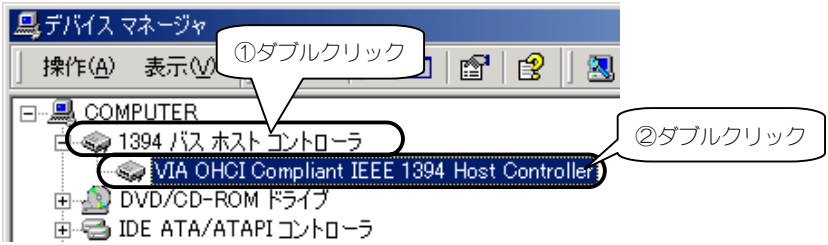
1 **[マイコンピュータ]を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。**



2 **[ハードウェア]タブ、続けて[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。**



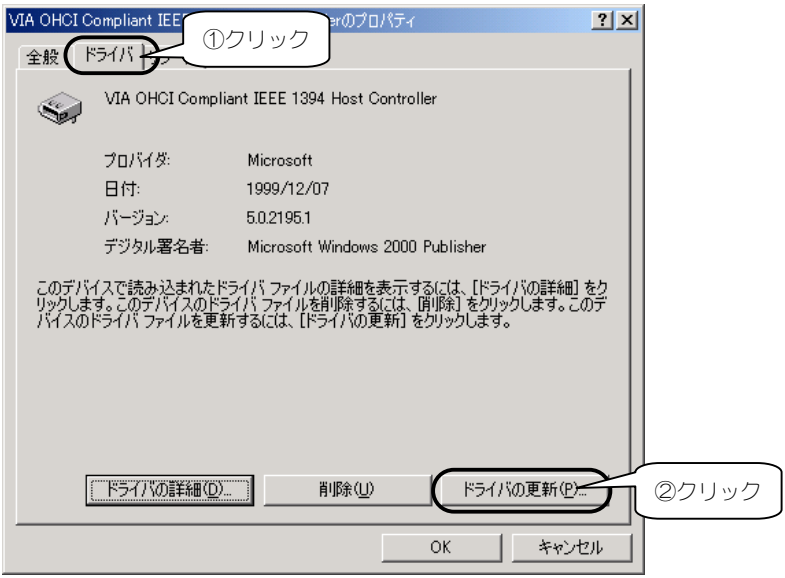
3 [1394バスホストコントローラ]をダブルクリックし、[VIA OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller]をダブルクリックします。



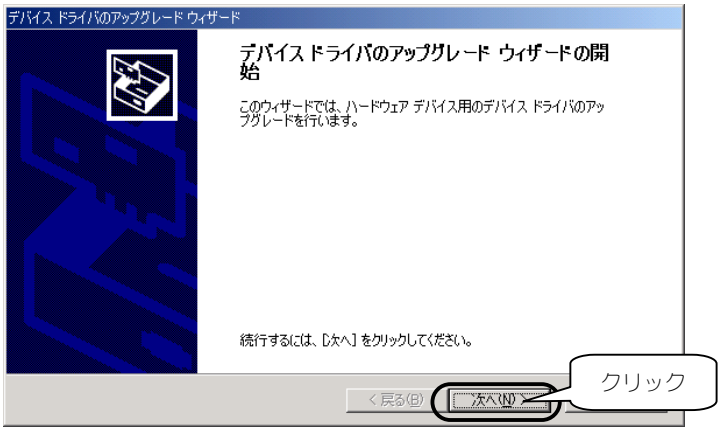
[1394 バスホストコントローラ]が見当たらない場合は…

115 ページ「[1394 バスホストコントローラ]の…」をご参照ください。

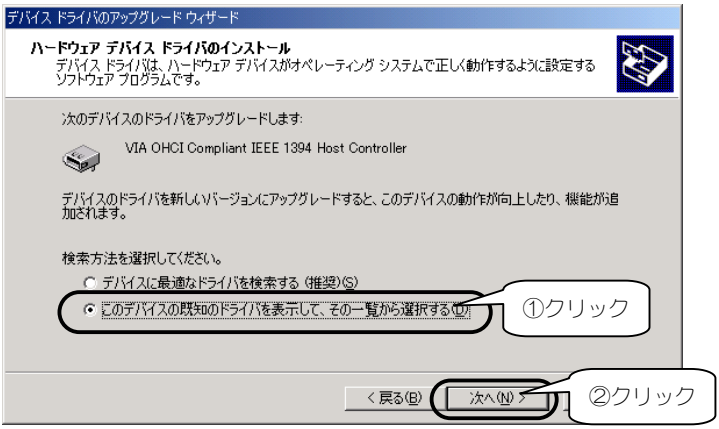
4 [ドライバ]タブをクリックし、[ドライバの更新]ボタンをクリックします。



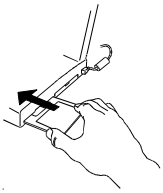
5 [次へ]ボタンをクリックします。



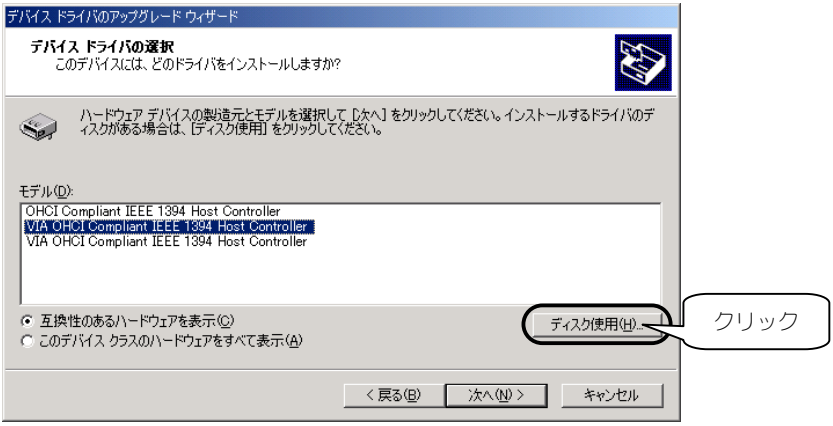
6 [このデバイスの既知のドライバを・・・・・]をクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。



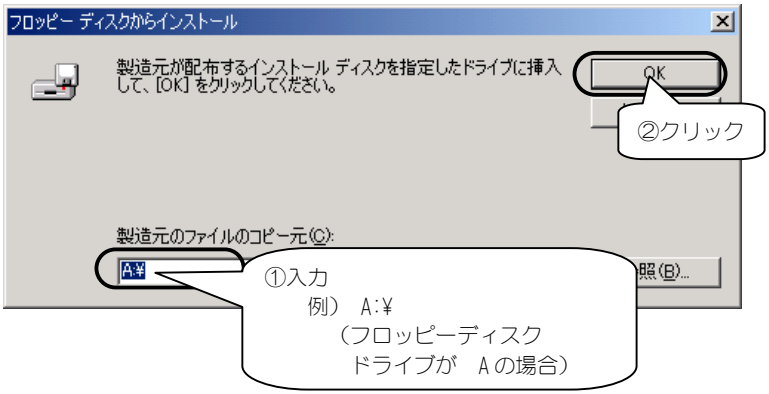
7 「CB1394シリーズサポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。



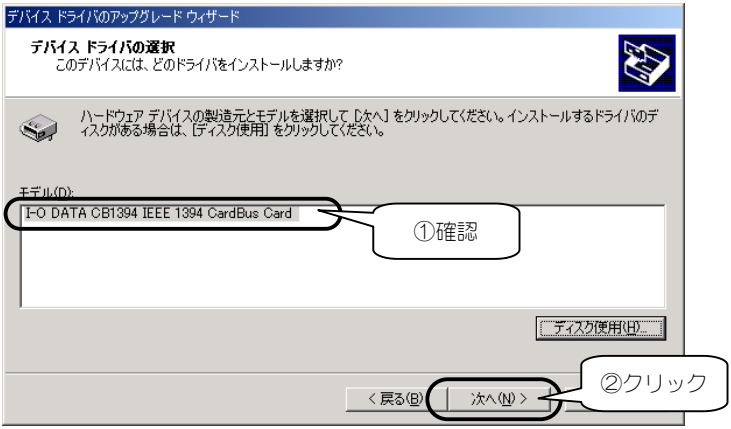
8 [ディスク使用]ボタンをクリックします。



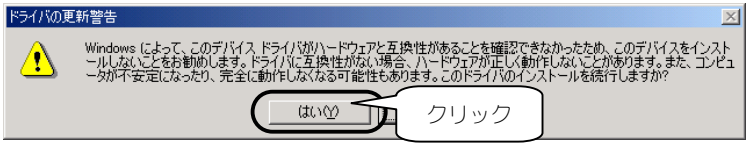
9 [製造元のファイルのコピー元]にフロッピーディスクドライブ名（以下の画面では A:¥ ）を入力し、[OK]ボタンをクリックします。



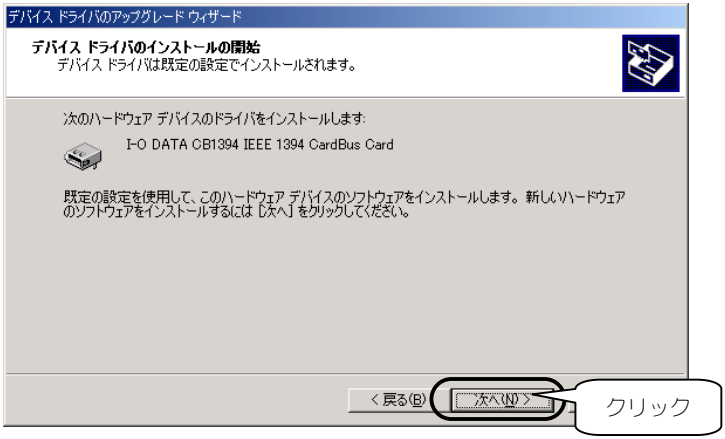
10 **モデル欄に[I-O DATA CB1394 IEEE 1394 CardBus Card]と表示されていることを確認後、[次へ]ボタンをクリックします。**



11 **以下の画面では、[はい]ボタンをクリックします。**



12 **[次へ]ボタンをクリックします。**



13 [完了]ボタンをクリックします。



14 [閉じる]ボタンをクリックします。



15 ［デバイスマネージャ］画面を閉じます。

以上でドライバの更新は終了です。

●更新後のドライバの表示について

更新が正常に終了すると、デバイスマネージャでの表示、および本PCカードの取り出し時には、本PCカードのドライバ名は以下のように変更されます。

［VIA OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller］

⇩

［I-O DATA CB1394 IEEE 1394 CardBus Card］

インストールが正常ならば

CB1394L/DVCをお使いの場合

この後、「VideoStudio」、「PhotoImpact」および「COOL 3D3」をインストールします。63,64ページへお進みください。

CB1394Lをお使いの場合

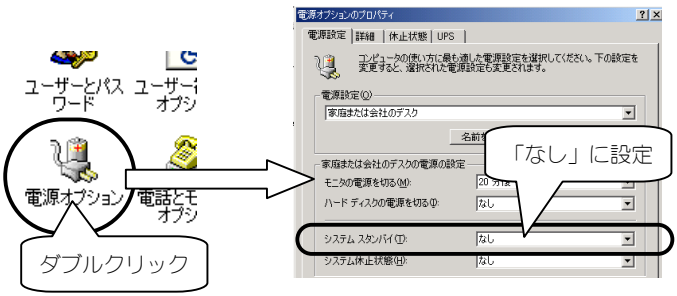
この後、お持ちのストレージ機器を接続します。
【ストレージ機器を使う】(95ページ)へお進みください。

注意

本PCカードは、Windows 2000のACPI規格には対応しておりません。
従って、本PCカードを取り付けた状態では以下にご注意ください。

・スタンバイ機能は無効に設定してください。

1. [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックします。
2. [電源オプション]をダブルクリックし、[電源設定]タブの[システムスタンバイ]の設定を［なし］に設定してください。
（「システムスタンバイ」の設定が表示されない機種もあります。その場合は特に設定の必要はありません。）



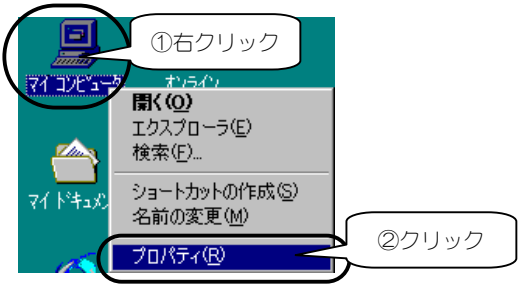
・[スタート]→[シャットダウン]→[スタンバイ]は実行しないでください。
([スタンバイ]が表示されない機種もあります。)

ACPIとは?

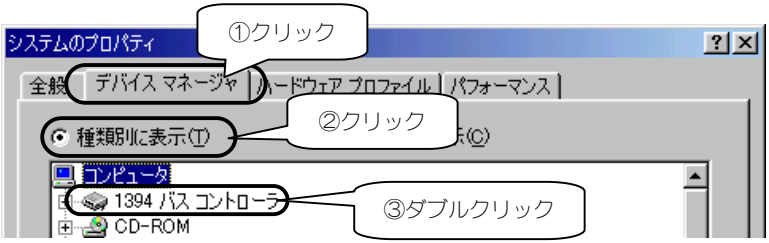
米マイクロソフト社、米インテル社、東芝の3社が提唱しているパソコンの省電力モードなどの電力制御や、パソコンに接続される家庭電化製品の電源の制御などを、OS(オペレーティング･システム)から行うことができる低消費電力機構の規格です。

Windows Me/98 SEでのドライバの更新

1 **[マイコンピュータ]を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。**



2 **[デバイスマネージャ]タブをクリックし、[種類別に表示]で[1394 バスコントローラ]をダブルクリックします。**



[1394 バスコントローラ]が見当たらない場合は…

115 ページ「[1394 バスコントローラ]の…」をご参照ください。

3 [PCI OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller]をダブルクリックします。

※ Windows Meの場合は、[VIA OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller]をダブルクリックします。



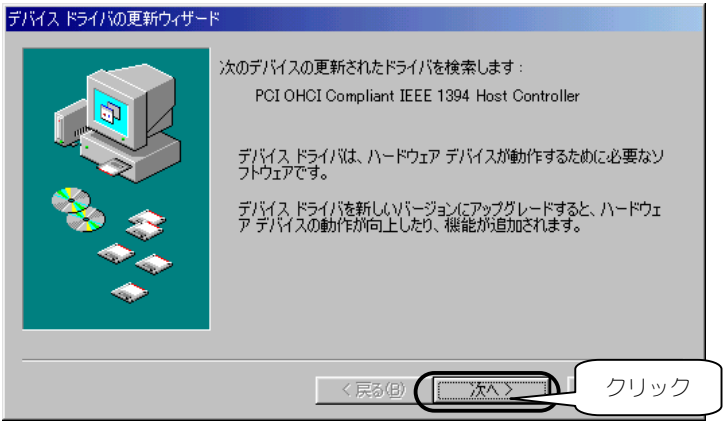
4 [ドライバ]タブをクリックし、[ドライバの更新]ボタンをクリックします。

※ Windows Meの場合は、タイトルバー、およびダイアログ内のドライバの表示は[VIA OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller]となります。



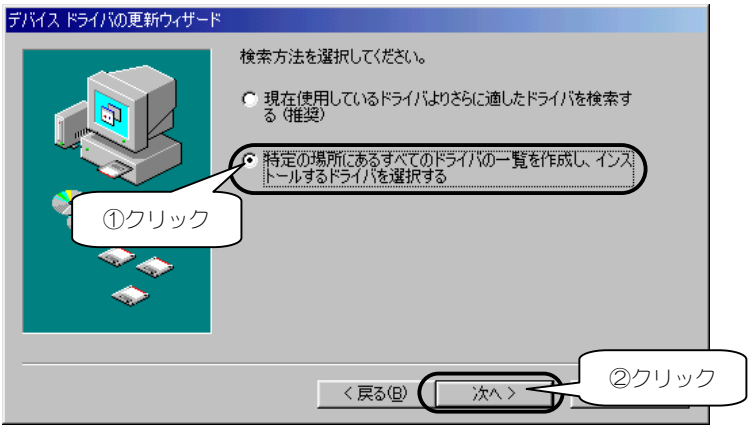
5 [次へ]ボタンをクリックします。

※ Windows Meの場合は、ダイアログ内のドライバの表示は
[VIA OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller]となります。

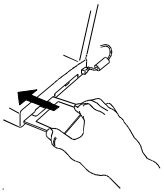


Windows Meの場合は、60ページ13へお進みください。

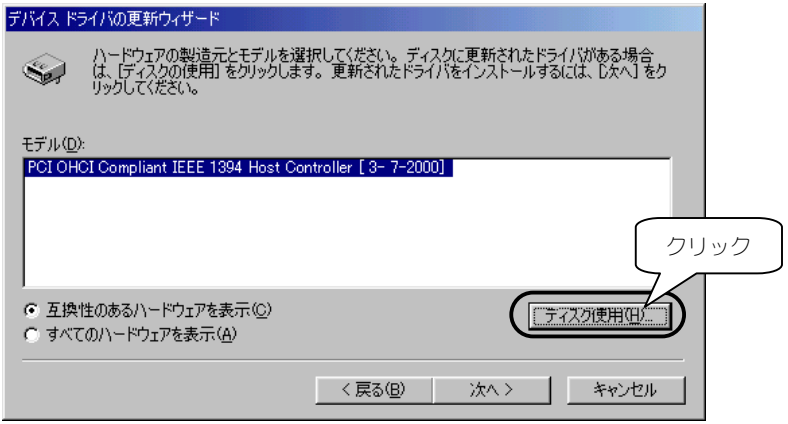
6 [特定の場所にあるすべての・・・・・]をクリックし、[次へ]ボタンをクリックしします。



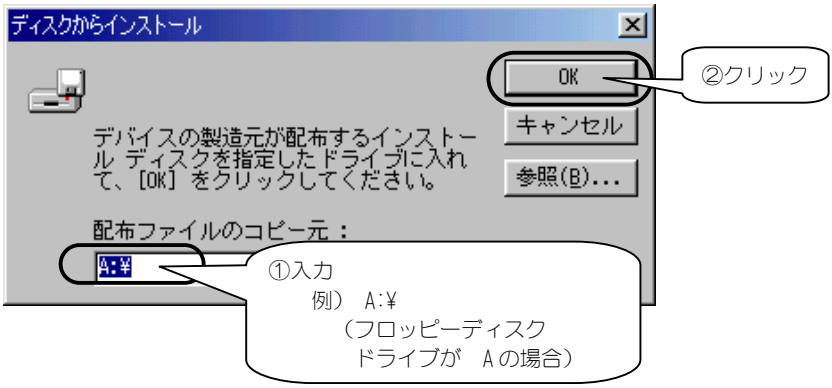
7 「CB1394シリーズサポートソフト」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。



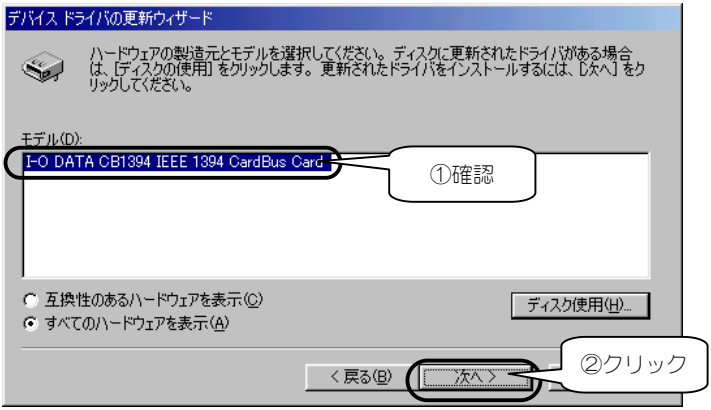
8 [ディスク使用]ボタンをクリックします。



9 [配布ファイルのコピー元]にフロッピーディスクドライブ名（以下の画面では A:¥ ）を入力し、[OK]ボタンをクリックします。



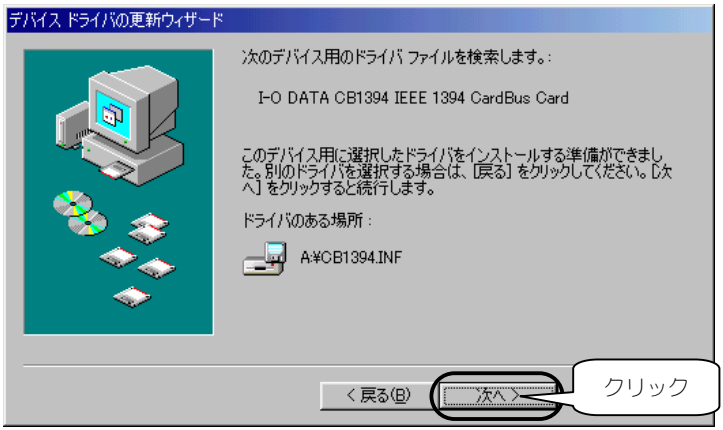
10 モデル欄に[I-O DATA CB1394 IEEE 1394 CardBus Card]と表示されていることを確認後、[次へ]ボタンをクリックします。



11 以下の画面では、[はい]ボタンをクリックします。



12 [次へ]ボタンをクリックしします。



13 [完了]ボタンをクリックします。



14 [閉じる]ボタンをクリックします。



15 ［システムのプロパティ］画面を閉じます。

以上でドライバの更新は終了です。

●更新後のドライバの表示について

更新が正常に終了すると、デバイスマネージャでの表示、および本PCカードの取り出し時には、本PCカードのドライバ名は以下のように変更されます。

［VIA OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller］
［PCI OHCI Compliant IEEE 1394 Host Controller］

⇩

［I-O DATA CB1394 IEEE 1394 CardBus Card］

インストールが正常ならば

CB1394L/DVCをお使いの場合

この後、「VideoStudio」、「PhotoImpact」おとび「COOL 3D3」をインストールします。63,64ページへお進みください。

CB1394Lをお使いの場合

この後、お持ちのストレージ機器を接続します。
【ストレージ機器を使う】(95ページ)へお進みください。

本PCカードは、Windows Me/98 SEのACPI規格には対応しておりません。
従って、本PCカードを取り付けた状態では以下にご注意ください。

・スタンバイ機能は無効に設定してください。

1. [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックします。
2. [電源の管理]をダブルクリックし、[システムスタンバイ]の設定を[なし]に設定してください。



・[スタート]→[Windowsの終了]→[スタンバイ]は実行しないでください。

ACPIとは?

米マイクロソフト社、米インテル社、東芝の3社が提唱しているパソコンの省電力モードなどの電力制御や、パソコンに接続される家庭電化製品の電源の制御などを、OS(オペレーティング・システム)から行うことができる低消費電力機構の規格です。

「VideoStudio」「PhotoImpact」をインストールする（CB1394L/DVCのみ）

CB1394L/DVCには、DV機器のテープなどのメディアの映像をディスプレイ上に再生したり、編集した映像を録画するためのソフトウェア「Ulead VideoStudio 6 SE」を添付しています。

※「Ulead VideoStudio 6 SE」、「Ulead PhotoImpact 7 SE」は、DV機器を含む1394機器を使用する上で必ずしもインストールする必要はありません。

※ CB1394Lには添付されておりません。

※ OEM版のため、店頭販売品と比べて以下の差があります。

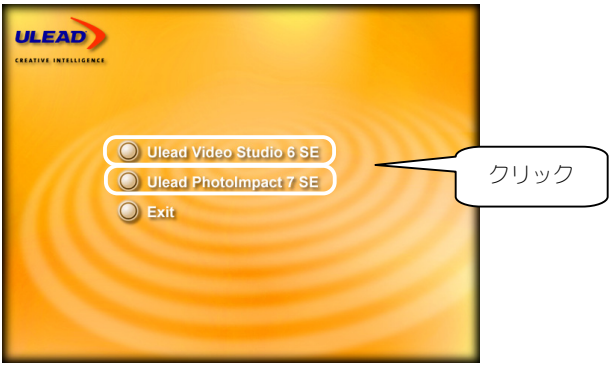
- GIFに対応していません。
- サンプルデータ（画像/オーディオ）が入っていません。
- 取扱説明書はCD-ROM内にPDFデータとして収録されています。

ここでは、「Ulead VideoStudio 6 SE」、および「Ulead PhotoImpact 7 SE」のインストール方法について説明します。

1 **「Ulead VideoStudio 6」CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。**

2 **以下のメニュー画面が表示されます。**
[Ulead VideoStudio 6 SE]もしくは
[Ulead PhotoImpact 7 SE]をクリックします。

インストールしたいものをクリックしてください。



後は画面の指示に従ってください。

詳細は、CD-ROM内の取扱説明書データ（¥UVS6¥Document¥Manual¥Japanese¥VStudio6_OEM.PDF）」を参照してください。

インストール後、次ページ【「COOL 3D3」をインストールする】へお進みください。

「COOL 3D3」をインストールする (CB1394L/DVCのみ)

CB1394L/DVCには、表現力のある強力な3Dタイトルを作成するための高性能3Dタイトルアニメータソフトウェア「Ulead COOL 3D3 SE」を添付しています。

※「Ulead COOL 3D3 SE」は、DV機器を含む1394機器を使用する上で必ずしもインストールする必要はありません。

※ CB1394Lには添付されておりません。

ここでは、「Ulead COOL 3D3 SE」のインストール方法について説明します。

1 **「Ulead COOL 3D」CD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。**

2 **メニュー画面が表示されます。[Ulead COOL 3D Ver.3.0体験版のインストール]をクリックします。**



後は画面の指示に従ってください。

詳細は、CD-ROM内の取扱説明書データ（¥Manual¥Japanese¥C3c3manual.PDF ）を参照してください。

インストール後、【DV機器を使う】(77ページ)へお進みください。

補 足　OS上で本PCカードを取り外す方法

Windowsを使用中でも本PCカードを取り外すことができます。

・Windows XPの場合は次ページを参照してください。
・Windows 2000/Meの場合は69ページを参照してください。
・Windows 98 SEの場合は72ページを参照してください。



・ここでの手順および画面は、本PCカードを取り外す場合の手順について説明しています。
DV機器を接続した後の取り外し手順については93ページを、また、1394対応のストレージ機器を接続した後の取り外し手順については109ページを参照してください。
・本PCカードに1394機器を接続したまま、次ページ以降の手順を行うと、接続している機器の停止も自動的に行われ、機器の操作もできなくなります。
・次ページ以降の終了手順後、再度使用したい場合は、パソコンの電源が入っている状態のままで、本PCカードを挿入して使用できます。
1394機器を接続する際は、本PCカードのみを先に接続しから接続してください。必ず1394機器の電源が入っていることを確認してから接続してください。

Windows XPの場合

Windows XPを使用中でも本PCカードを取り外すことができます。
ただし取り外す際には、必ず以下または次ページのどちらかの終了手順を行ってください。

注意

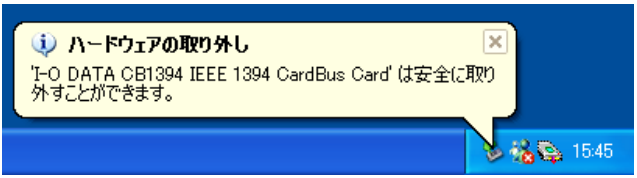
終了手順を行わずに本PCカードをPCカードスロットから取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。

● 終了手順　－その１－

1 **タスクトレイのリムーバブルツールアイコンをクリックして、[I-O DATA CB1394 IEEE‥‥を安全に取り外します]をクリックします。**



2 **以下が表示されたら本PCカードをPCカードスロットから取り外します。**



「取り外しができません」というようなメッセージが表示された場合は…

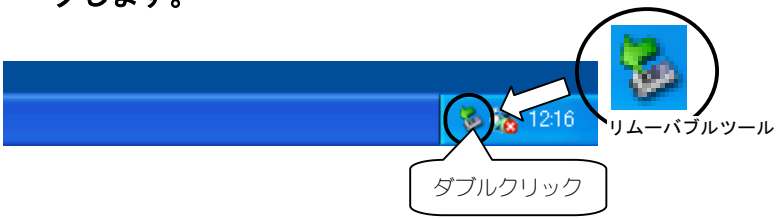
117 ページ「本 PC カードやストレージ機器の…」をご参照ください。

１分以上待っても上記のメッセージが表示されない場合は…

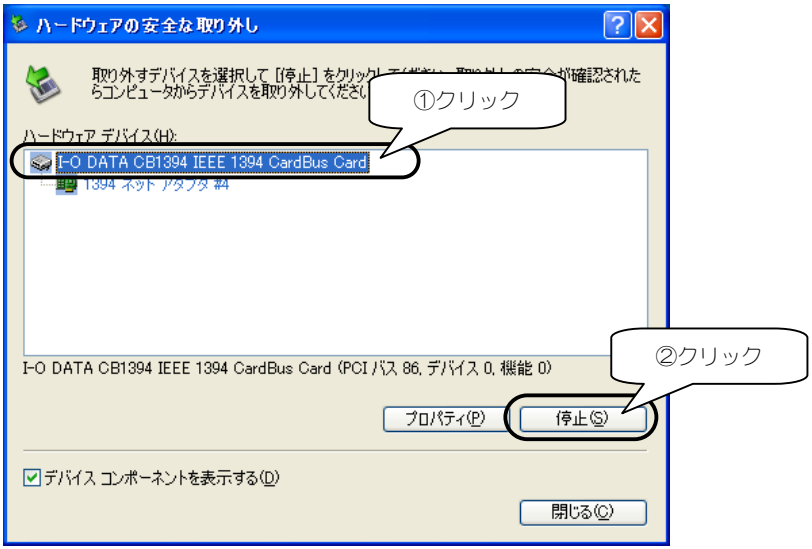
117 ページ「本 PC カードやストレージ機器の…」をご参照ください。

● 終了手順　－その２－

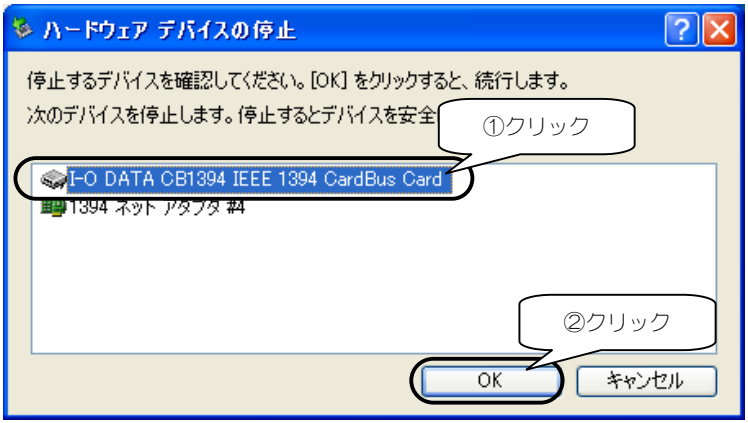
1 タスクトレイのリムーバブルツールアイコンをダブルクリックします。



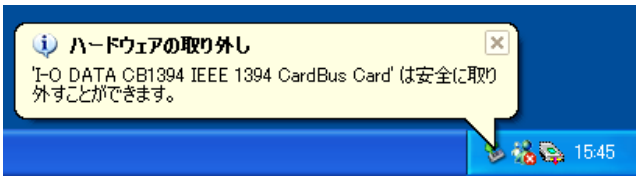
2 [I-O DATA CB1394 IEEE‥‥] をクリックし、[停止] ボタンをクリックします。



3 [I-O DATA CB1394 IEEE‥‥]をクリックし、[OK]ボタンをクリックします。



4 以下が表示されたら本PCカードをPCカードスロットから取り外します。



「取り外しができません」というようなメッセージが表示された場合は…

117 ページ「本 PC カードやストレージ機器の…」をご参照ください。

1 分以上待っても上記のメッセージが表示されない場合は…

117 ページ「本 PC カードやストレージ機器の…」をご参照ください。

Windows 2000/Meの場合

Windows 2000/Meを使用中でも本PCカードを取り外すことができます。
ただし取り外す際には、必ず以下または次ページのどちらかの終了手順を行ってください。

注意

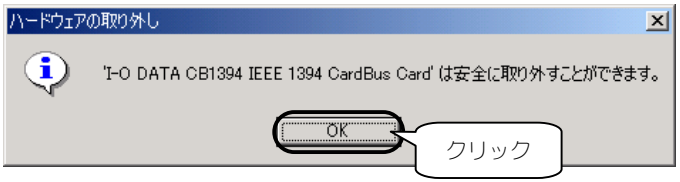
終了手順を行わずに本PCカードをPCカードスロットから取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。

● 終了手順　ーその１ー

1 **タスクトレイのリムーバブルツールアイコンをクリックして、[I-O DATA CB1394 IEEE‥‥を停止します]をクリックします。**



2 **[OK] ボタンをクリックします。**





「取り外しができません」というようなメッセージが表示された場合は…

117 ページ「本 PC カードやストレージ機器の…」をご参照ください。



１分以上待っても上記のメッセージが表示されない場合は…

117 ページ「本 PC カードやストレージ機器の…」をご参照ください。

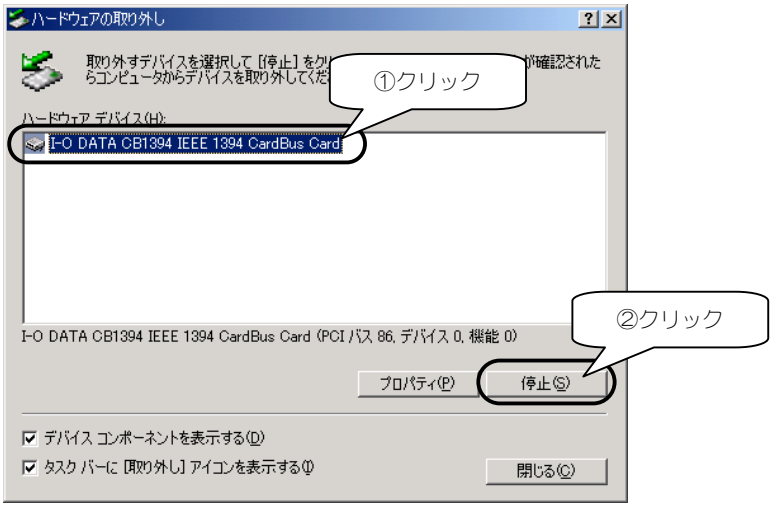
3　**本PCカードをPCカードスロットから取り外します。**

● 終了手順　－その２－

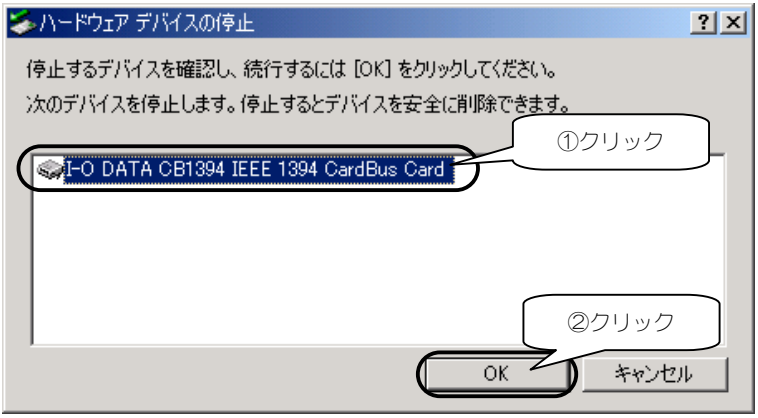
1　**タスクトレイのリムーバブルツールアイコンをダブルクリックします。**



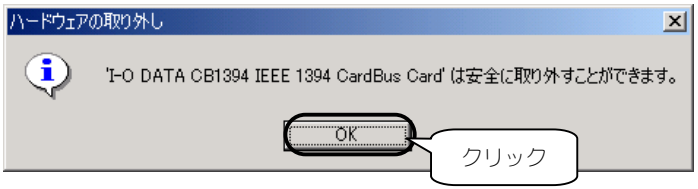
2　**[I-O DATA CB1394 IEEE‥‥] をクリックし、[停止] ボタンをクリックします。**



3 [I-O DATA CB1394 IEEE‥‥]をクリックし、[OK]ボタンをクリックします。



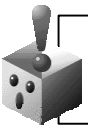
4 [OK]ボタンをクリックします。





「取り外しができません」というようなメッセージが表示された場合は…

117 ページ「本 PC カードやストレージ機器の…」をご参照ください。



1 分以上待っても上記のメッセージが表示されない場合は…

117 ページ「本 PC カードやストレージ機器の…」をご参照ください。

5 本PCカードをPCカードスロットから取り外します。

Windows 98 SEの場合

Windows 98 SEを使用中でも本PCカードを取り外すことができます。
ただし取り外す際には、必ず次ページまたは74ページのどちらかの終了手順を行ってください。

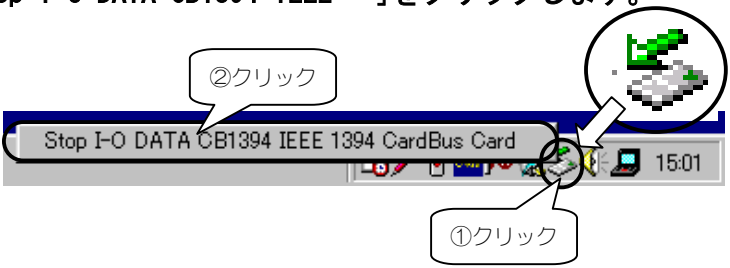
注意

終了手順を行わずに本PCカードをPCカードスロットから取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。

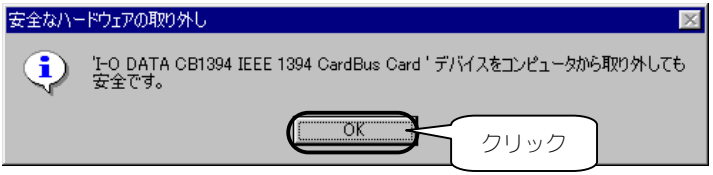


● 終了手順　－その１－

1　**タスクトレイのPCカードアイコンをクリックして、[Stop I-O DATA CB1394 IEEE･･･]をクリックします。**



2　**[OK] ボタンをクリックします。**





「取り外しができません」というようなメッセージが表示された場合は…

117 ページ「本 PC カードやストレージ機器の…」をご参照ください。



１分以上待っても上記のメッセージが表示されない場合は…

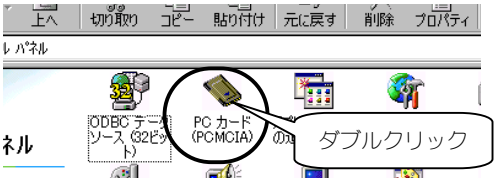
117 ページ「本 PC カードやストレージ機器の…」をご参照ください。

3　**本PCカードをPCカードスロットから取り外します。**

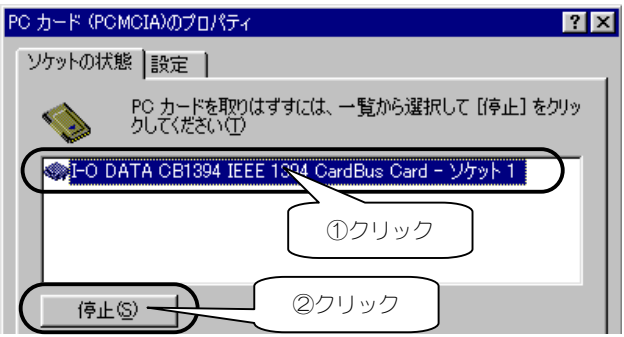
● 終了手順　－その２－

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を順にクリックします。

2 [PCカード(PCMCIA)]アイコンをダブルクリックします。



3 [I-O DATA CB1394 IEEE･･･]をクリックし、[停止]ボタンをクリックします。



4 [OK]ボタンをクリックします。





「取り外しができません」というようなメッセージが表示された場合は…

117 ページ「本 PC カードやストレージ機器の…」をご参照ください。



1 分以上待っても上記のメッセージが表示されない場合は…

117 ページ「本 PC カードやストレージ機器の…」をご参照ください。

5　本PCカードをPCカードスロットから取り外します。

MEMO

DV機器を使う

基本操作 …… 78

DV機器の接続および取り外しについての基本操作について説明します。

内蔵ハードディスクのDMA設定を確認する
(Windows 98 SEのみ) …… 79

Windows 98 SEでの内蔵ハードディスクのDMA設定について確認します。

DV機器を接続する …… 82

DV機器を接続します。

DV機器が正しく接続されているかを確認する …… 85

DV機器が正しく接続されているかをWindows上から確認します。

DV機器をWindows上から操作する …… 92

DV機器をWindows上から操作します。

DV機器を取り外す場合 …… 93

DV機器を取り外す場合について説明します。

基本操作

ここでは、本PCカードにDV機器を接続する場合、取り外す場合の基本的な操作について説明します。

DV機器を本PCカードに接続/取り外しする場合

DV機器は、1394対応のケーブルで本PCカードに接続します。
パソコンの電源が入っている状態でも接続できます。
※ コネクタの向きなどを確認した上で接続してください。



DV機器に関する注意事項

DV機器を含む1394機器のつなげ方、取り外し方、および使い方については、各社の1394機器の取扱説明書を参照してください。誤った操作方法は機器およびディスクの破損、もしくはデータの消失、またはWindowsの正常動作の妨げとなりますのでご注意ください。

- 1394機器は電源をオンにしてから、本製品につなげてください。
  1394機器の電源がオフの状態で本製品につなげると、
  →1394機器が認識されないなどの現象が発生し、正常動作いたしません。
- 1394機器の動作中に、ケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。
- 複数の1394機器をつないだ場合、他の機器が動作している時に動作していない機器のケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。また、1394機器の動作中に、他の1394機器を接続することも正常動作の妨げになる場合があります

※ 1394機器が正常に動作しない場合や認識されない場合は、いったんケーブルを抜いてから1394機器の電源の入れ直しを行い、1394機器の電源がオンの状態で再度接続してください。また、接続する1394機器によっては上記以外の制限事項がありますので、必ず各1394機器の取扱説明書も参照してください。

内蔵ハードディスクのDMA設定を確認する（Windows 98 SEのみ）

Windows 98 SEをお使いの場合で、内蔵ハードディスクに動画（AVI）ファイルを取り込む場合は、ハードディスクにDMAの設定がされていないとコマ落ちが発生する場合があります。

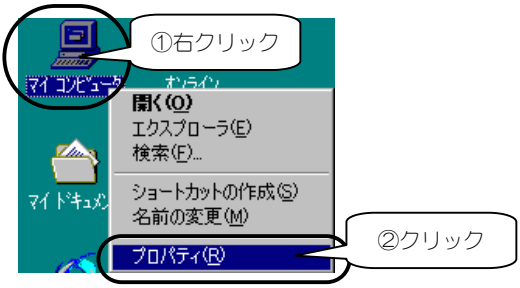
以下の手順にて、DMAの設定がされているか確認・設定してください。

※設定できない場合もあります。

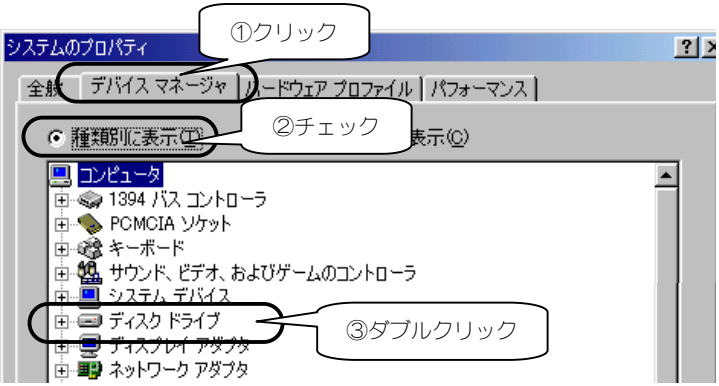
注意

- DMAの設定が必要なのは、パソコン本体標準の内蔵ハードディスクの場合のみです。PCカード経由、1394経由、USB経由のハードディスク等には、設定の必要はありません。
- 内蔵ハードディスクの性能によっては、動画キャプチャ書き戻し時にコマ落ち・音飛びが発生する場合があります。
  できる限り、高速なハードディスクをご利用になることをおすすめします。（7ページ参照）
- Windows XP/2000/Meでは、DMAを使用可能な場合は、既に設定されていますので、設定の必要はありません。

1 [マイコンピュータ]を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。

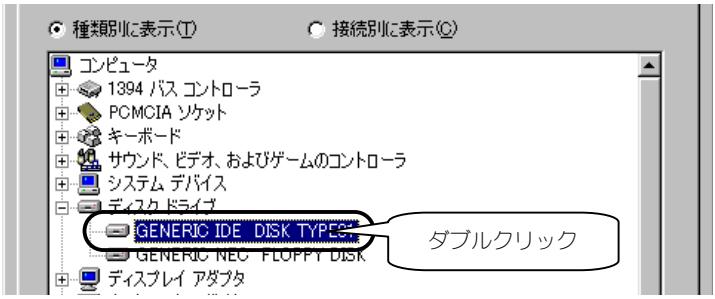


2 [デバイスマネージャ]タブをクリックし、[種類別に表示]で[ディスクドライブ]をダブルクリックします。



3 [GENERIC IDE DISK ····]をダブルクリックします。

複数の[GENERIC IDE DISK ····]が表示されている場合は、上から順にダブルクリックしてください。



4 **[設定]タブをクリックします。**
[現在のドライブ文字割り当て]でファイルを保存するドライブ名であることを確認します。
確認後、[オプション]の[DMA]のチェックが入っていることを確認します。
チェックされていない場合はチェックし、[OK]ボタンをクリックします。



注意

パソコンの取扱説明書に以下のような記述がある場合は、DMAはチェックしないでください。（その場合、コマ落ちが発生する場合があります。）

- 「ハードディスクはPIOモードで転送する」
- 「ハードディスクでDMA転送をしない」

DV機器を接続する

本PCカードにDV機器を接続してみましょう。

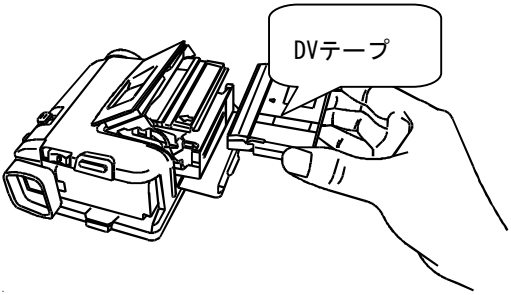
1 DV機器の電源が入っていることを確認します。

※ DV機器が「ビデオ(再生)モード」になっていることも確認してください。

注意

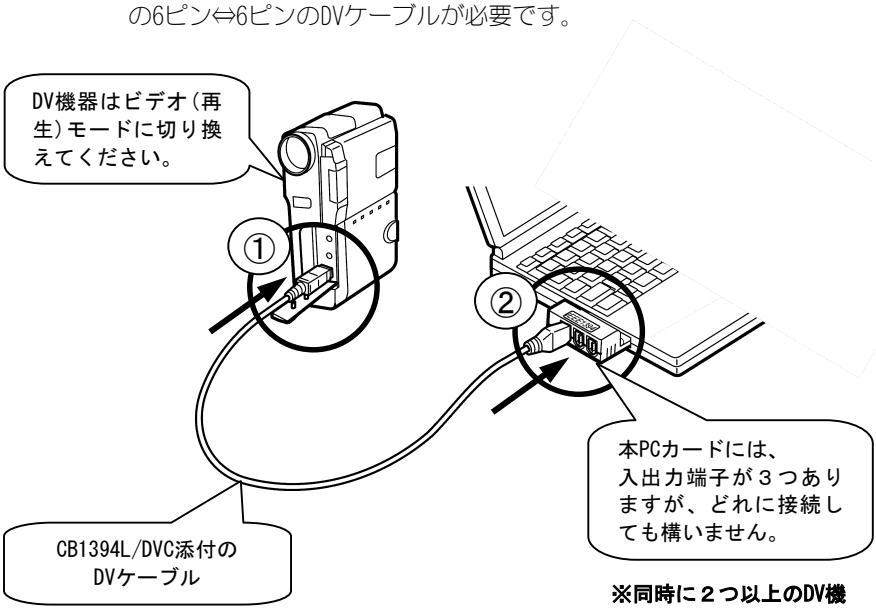
DV機器の操作方法については、各DV機器メーカーへお問い合わせください。

2 DV機器に録画済みのDVテープなどのメディアを挿入します。



3 DV機器にある4ピンタイプのDV(i.LINK)端子と本PCカードを、付属のDVケーブル(6ピン⇔4ピン：CB1394L/DVCのみ付属)で接続します。

※6ピンタイプのDV機器と接続する場合は、機器に付属または市販の6ピン⇔6ピンのDVケーブルが必要です。



※同時に２つ以上のDV機器は制御できません。

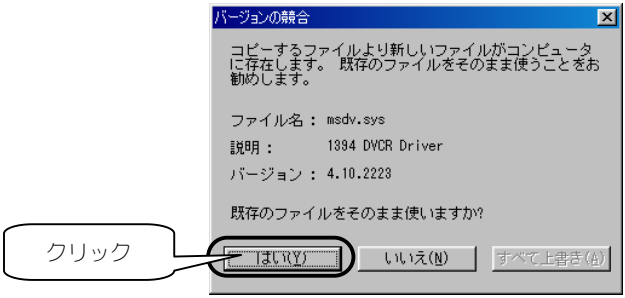
接続時のポイント

- **DV機器の電源を入れてから、本PCカードと接続します。（パソコンの電源が入っている状態で接続できます。）**
- **本PCカードは、パソコンの電源が入っている状態でも取り付けできます。ただし、本PCカードをPCカードスロットへ挿入する際には、DV機器を接続した状態で挿入しないでください。本PCカードをPCカードスロットに挿入後、Windowsが正常に起動している状態（本PCカードが正常に認識されている状態）でDV機器を接続するようにしてください。**

4 接続すると、パソコン(Windows)が、接続したDV機器を自動認識します。

注意

Windows 98 SEで以下の画面が表示された場合は、［はい］ボタンをクリックしてください。



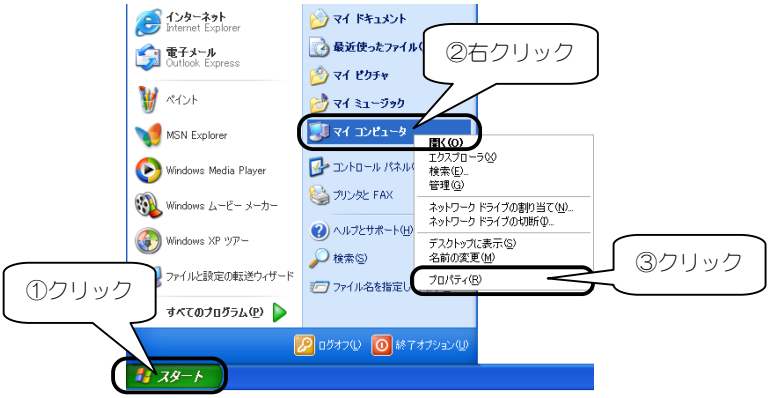
DV機器が正しく接続されているかを確認する

ここでは、DV機器が正しく接続されているかをWindows上から確認します。

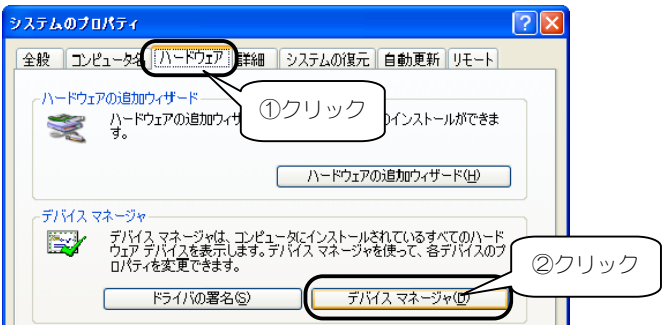
・Windows XPの場合は以下を参照してください。
・Windows 2000の場合は88ページを参照してください。
・Windows Me/98 SEの場合は90ページを参照してください。

Windows XPの場合

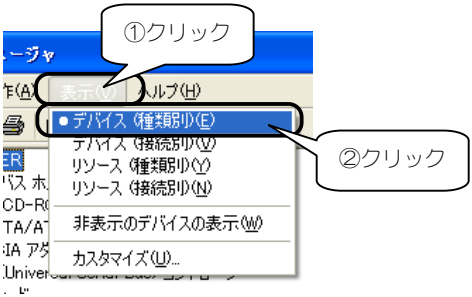
1 **[スタート]をクリックし、[マイコンピュータ]を右クリックして表示されたメニューの[プロパティ]をクリックします。**



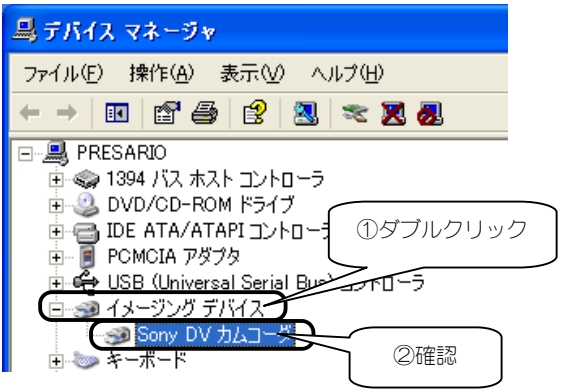
2 **[ハードウェア]タブ、続けて[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。**

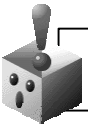


3 **[表示]メニュー内の[デバイス（種類別）]をクリックします。**



4 **[イメージングデバイス]をダブルクリックし、[Sony DV カムコーダ]が登録（表示）されていれば、DV機器が正常に接続されています。**





[イメージングデバイス]が見当たらない場合は…

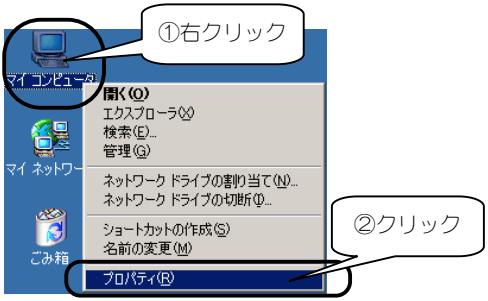
115 ページ「[イメージングデバイス]の…」をご参照ください。

5 [デバイスマネージャ]を閉じます。

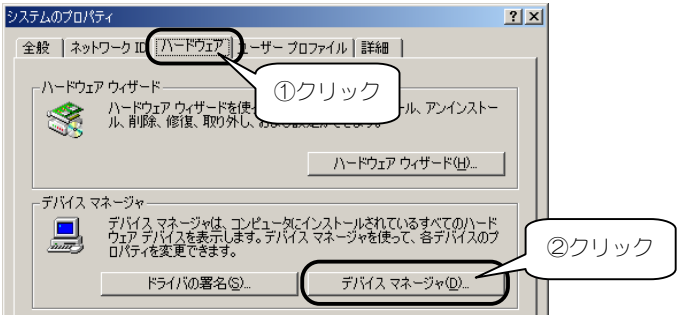
以上で、Windows XPでのDV機器の接続の確認は終了です。
DV機器をパソコン上から操作する場合は、92ページ【DV機器をWindows上から操作する】を参照してください。

Windows 2000の場合

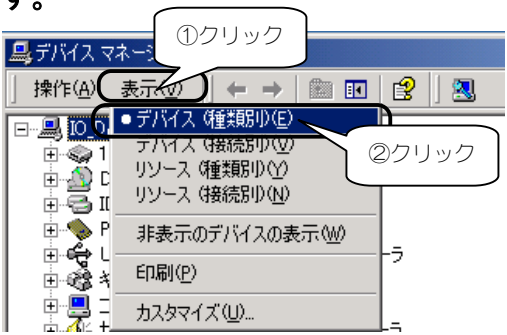
1 **[マイコンピュータ]を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。**



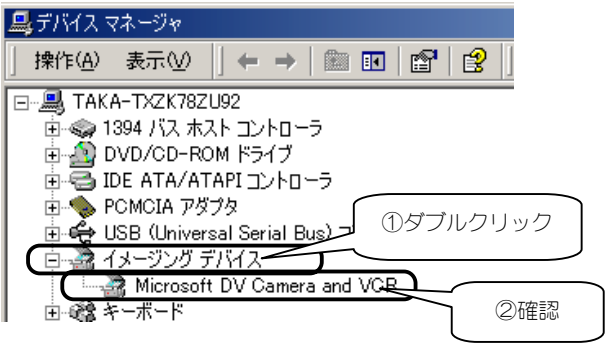
2 **[ハードウェア]タブ、続けて[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。**



3 **[表示]メニュー内の[デバイス（種類別）]をクリックします。**



4 [イメージングデバイス]をダブルクリックし、[Microsoft DV Camera and VCR]が登録（表示）されていれば、DV機器が正常に接続されています。





[イメージングデバイス]が見当たらない場合は…

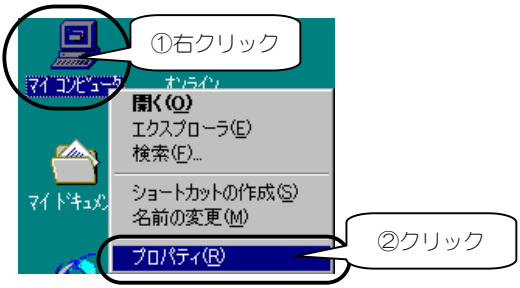
115 ページ「[イメージングデバイス]の…」をご参照ください。

5 [デバイスマネージャ]を閉じます。

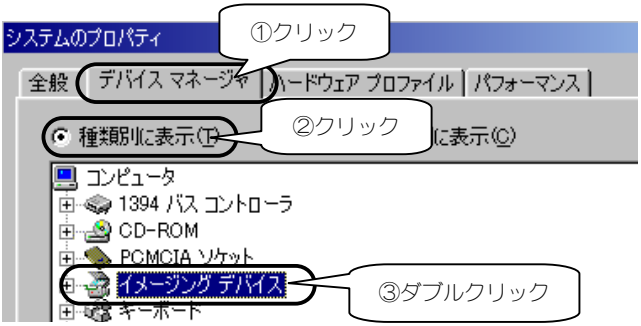
以上で、Windows 2000でのDV機器の接続の確認は終了です。
DV機器をパソコン上から操作する場合は、92ページ【DV機器をWindows上から操作する】を参照してください。

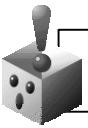
Windows Me/98 SEの場合

1 **[マイコンピュータ]を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。**



2 **[デバイスマネージャ]タブをクリックし、[種類別に表示]で[イメージングデバイス]をダブルクリックします。**



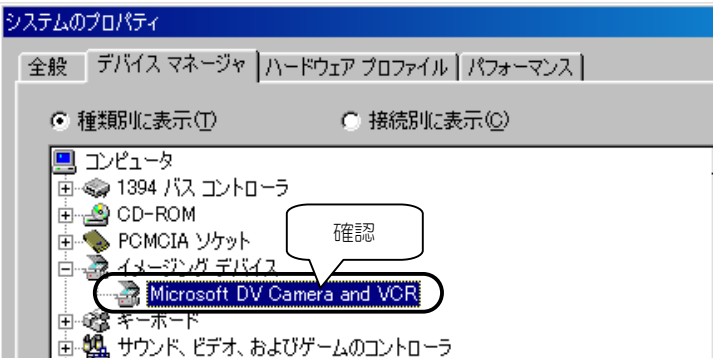


[イメージングデバイス]が見当たらない場合は…

115 ページ「[イメージングデバイス]の…」をご参照ください。

3 [Microsoft DV Camera and VCR]が登録（表示）されていれば、DV機器が正常に接続されています。

Windows Meの場合は、接続したDV機器のメーカー名、および製品名が登録（表示）されます。



以上で、Windows Me/98 SEでのDV機器の接続の確認は終了です。
DV機器をパソコン上から操作する場合は、次ページ【DV機器をWindows上から操作する】を参照してください。

DV機器をWindows上から操作する

それでは、DV機器をWindows上から操作してみましょう。
Windows上からの操作は、添付の「VideoStudio」等のアプリケーションソフトで行います。

※「VideoStudio」をお使いの場合には、使用方法その他については、ヘルプやCD-ROM内の取扱説明書（¥UVS6¥Document¥Manual¥Japanese¥VStudio6_OEM.PDF）を参照してください。

※「COOL 3D3」をお使いの場合には、使用方法その他については、ヘルプやCD-ROM内の取扱説明書（¥Manual¥Japanese¥C3c3manual.PDF）を参照してください。

注意

・DV機器の操作中は、ケーブルの抜き差しを行わないでください。
・VideoStudioを使用する際は、ディスプレイの省電力設定・スクリーンセーバー、OSの省電力設定を使用しないでください。（設定についてはパソコンメーカーにご確認ください。）

サービス品に関するお問い合わせ

添付のサービス品「VideoStudio」、「PhotoImpact」および「COOL 3D」に関しては、ユーリード社まで

●お問い合わせ先
ユーリードシステムズ株式会社ユーザーサポート係

電話番号 03-5491-5662
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.ulead.co.jp/
E-mail 上記インターネットのサポートページよりお問い合わせください。

受付時間 平日 10:00～12:00　13:00～17:00

DV機器を取り外す場合

DV機器を取り外す場合は、以下の手順で取り外してください。

1 本PCカードに接続しているケーブルから取り外します。

注意

・パソコンの電源が入っている状態でも取り外せます。
・取り外す際には、必ずケーブルのコネクタを持って取り外してください。ケーブルを持って取り外さないでください。
・DV機器が動作していないこと（再生等を行っていないこと）を確認した上で取り外してください。
・DV機器を操作するアプリケーション（添付のVideoStudio等）を終了してから取り外してください。
・DV機器を含む複数の1394機器を接続している場合は、他の機器が動作している時に、動作していない機器のケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。

参考

DV機器の電源を切ってから取り外すこともできます。

2 ケーブル取り外し後、DV機器の電源を切ります。

MEMO

ストレージ機器を使う
（ハードディスクやMOドライブ等を接続する）

基本操作 …… 96

ストレージ機器（ハードディスクやMOドライブなど）
の接続および取り外しについての基本操作について
説明します。

ストレージ機器を接続する …… 97

ストレージ機器を接続します。

**ストレージ機器が正しく接続
されているかを確認する** …… 99

ストレージ機器が正しく接続されているかを
Windows上から確認します。

ストレージ機器を取り外す場合 …… 109

ストレージ機器を取り外す場合について説明します。

基本操作

ここでは、本PCカードに1394対応のストレージ機器（ハードディスクやMOドライブ等）を接続する場合、取り外す場合の基本的な操作について説明します。

機器を本PCカードに接続/取り外しする場合

ストレージ機器は、1394対応のケーブルで本PCカードに接続します。
パソコンの電源を入れた状態でも接続できます。
※ コネクタの向きなどを確認した上で接続してください。
Windows使用中に取り外す場合は、【ストレージ機器を取り外す場合】(109ページ)の手順で取り外してください。

1394対応のストレージ機器に関する注意事項

ストレージ機器を含む1394機器のつなげ方、取り外し方、および使い方については、各1394機器の取扱説明書を参照してください。誤った操作方法は機器およびディスクの破損、もしくはデータの消失、またはWindowsの正常動作の妨げとなりますのでご注意ください。

・1394機器は電源をオンにしてから、本製品につなげてください。
1394機器の電源がオフの状態で本製品につなげると、
→1394機器が認識されないなどの現象が発生し、正常動作いたしません。
・1394機器の動作中に、ケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。
・複数の1394機器をつないだ場合、他の機器が動作している時に動作していない機器のケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。また、1394機器の動作中に、他の1394機器を接続することも正常動作の妨げになる場合があります

※ 1394機器が正常に動作しない場合や認識されない場合は、いったんケーブルを抜いてから1394機器の電源の入れ直しを行い、1394機器の電源がオンの状態で再度接続してください。また、接続する1394機器によっては上記以外の制限事項がありますので、必ず各1394機器の取扱説明書も参照してください。

ストレージ機器を接続する

本PCカードに1394対応のハードディスクやMOドライブ等のストレージ機器を接続してみましょう。

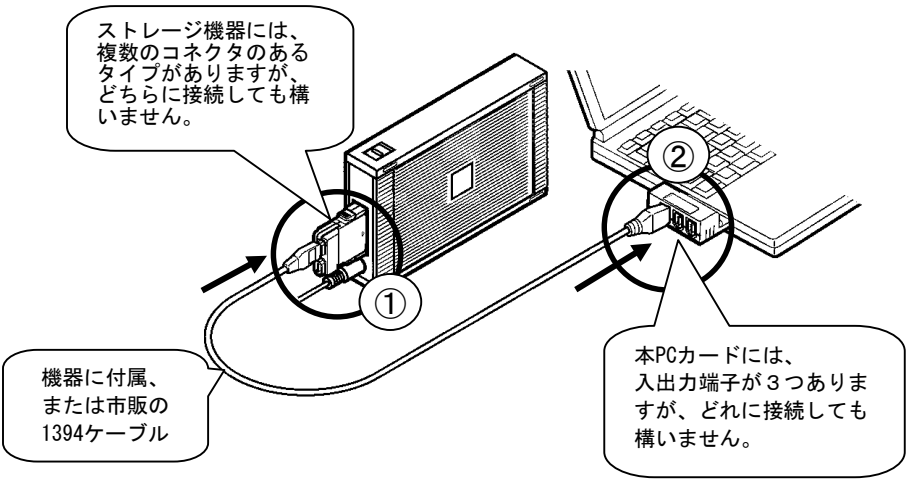
1 お使いのストレージ機器の電源を入れてください。

注意

ストレージ機器の操作については、各機器メーカーへお問い合わせください。

2 機器にある1394(i.LINK)端子と本PCカードを、1394ケーブルで接続します。

※ケーブルは機器付属のもの、あるいは市販のケーブル（6ピン⇔6ピン）をご使用ください。
ストレージ機器との接続の詳細は、ストレージ機器の取扱説明書を参照してください。



注意

別売オプションのACアダプタ（1394L-ACADP）を使用して、本PCカードから機器に電源を供給する場合、機器すべての消費電力が９Wを超えないようにしてください。超える場合は、機器に直接ACアダプタ等で給電するようにしてください。

※ 別売のACアダプタ（1394L-ACADP）については、【オプション品】(126ページ)参照。

接続時のポイント

・ストレージ機器の電源を入れてから、本 PC カードと接続します。（パソコンの電源が入っている状態で接続できます。）

・本 PC カードは、パソコンの電源が入っている状態でも取り付けできます。ただし、本 PC カードを PC カードスロットへ挿入する際には、ストレージ機器を接続した状態で挿入しないでください。本 PC カードを PC カードスロットに挿入後、Windows が正常に起動している状態（本 PC カードが正常に認識されている状態）でストレージ機器を接続するようにしてください。

3 接続すると、パソコン(Windows)が、接続したストレージ機器を自動認識します。

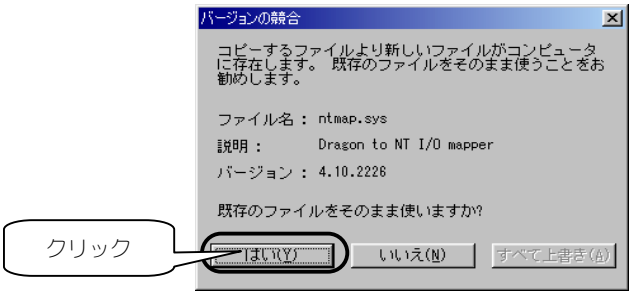
注意

・本PCカードに２台以上の機器を接続する場合には、注意事項があります。詳細は、【本PCカードに２台以上の機器を接続する場合】(120ページ)を参照してください。

・本PCカードに接続したストレージ機器からパソコンを起動させることはできません。

注意

Windows 98 SEで[バージョンの競合]画面が表示された場合は、すべて［はい］ボタンをクリックしてください。



ストレージ機器が正しく接続されているかを確認する

ここでは、ストレージ機器が正しく接続されているかをWindows上から確認します。

・Windows XPの場合は以下を参照してください。
・Windows 2000の場合は102ページを参照してください。
・Windows Me/98 SEの場合は105ページを参照してください。

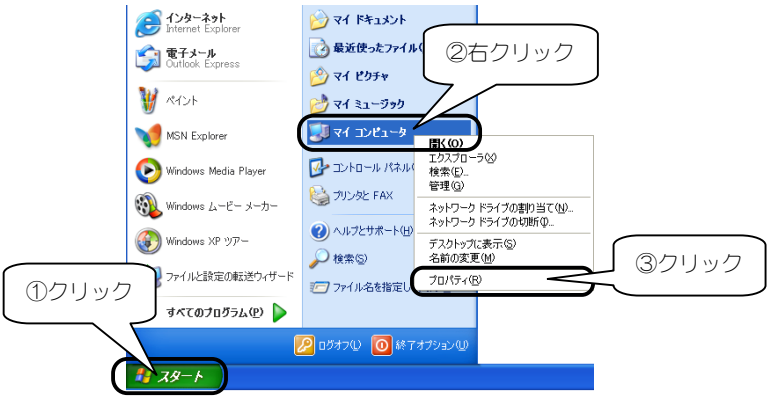
・確認は以下の手順のように「デバイスマネージャ」画面で確認できますが、表示は接続したストレージ機器により異なります。詳細は、ストレージ機器の取扱説明書を参照するか、またはストレージ機器メーカーにお問い合わせください。
・本取扱説明書には、ストレージ機器のフォーマット方法は記載されておりません。フォーマットが必要な機器については、ストレージ機器の取扱説明書を参照するか、またはストレージ機器メーカーにお問い合わせください。

Windows XPの場合

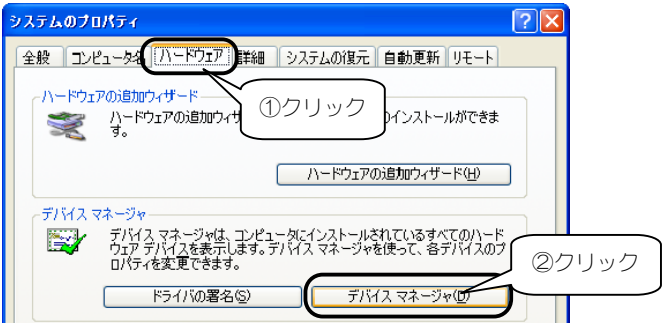
接続の確認は「デバイスマネージャ」画面で行いますが、表示は接続したストレージ機器により異なります。
詳細は各ストレージ機器の取扱説明書を参照してください。

ここでは、例としてハードディスク、MOドライブを接続した場合を説明します。

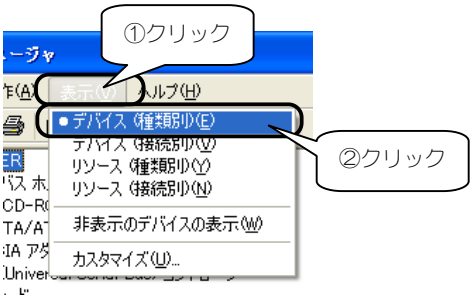
1 [スタート]をクリックし、[マイコンピュータ]を右クリックして表示されたメニューの[プロパティ]をクリックします。



2 [ハードウェア]タブ、続けて[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

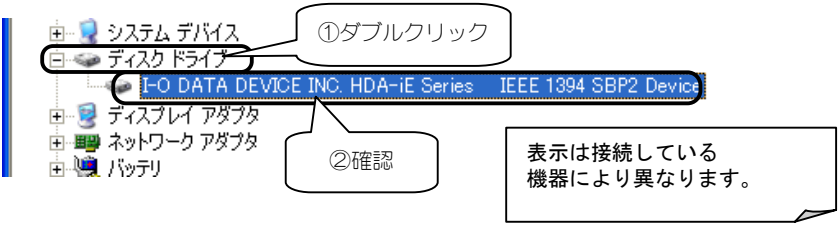


3 [表示]メニュー内の[デバイス（種類別）]をクリックします。



4 [ディスクドライブ]をダブルクリックし、その下に接続した機器が表示されていることを確認します。

※表示は接続したストレージ機器により異なります。詳細については、ストレージ機器の取扱説明書を参照するか、またはストレージ機器メーカーにご確認ください。

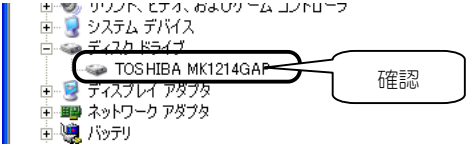


接続している機器がわからない場合は･･･

以下の手順で確認することができます。

1 **【補足 OS上で本PCカードを取り外す方法】(65ページ)を参照して、一旦本PCカードを取り外します。**

2 **取り外し後、前ページの手順で再度[ディスクドライブ]の表示を確認します。**



3 **本PCカードを取り付けます。**

4 **接続する機器の電源が入っていることを確認後、本PCカードに接続します。**

5 **再度、[ディスクドライブ]の表示を確認します。**
追加されているドライブ（の表示）が、本PCカードに接続した機器です。



機器の表示がない場合は…

116 ページ「接続したストレージ機器が…」をご参照ください。

5 [デバイスマネージャ]を閉じます。

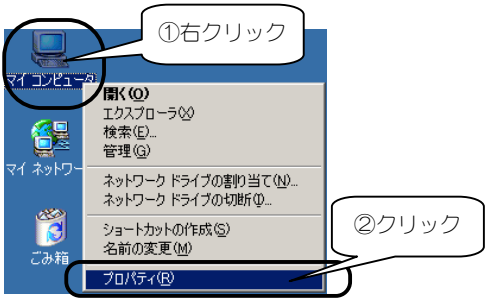
以上で、Windows XPでのストレージ機器の接続の確認は終了です。

Windows 2000の場合

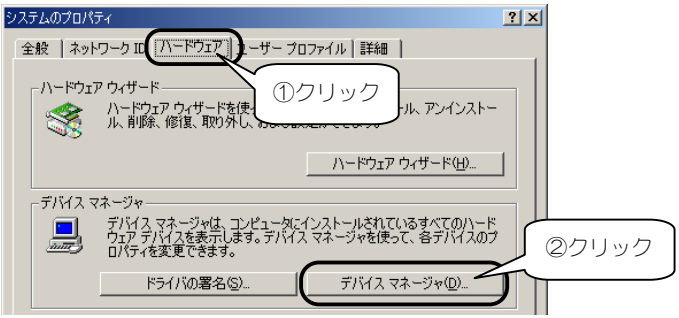
接続の確認は「デバイスマネージャ」画面で行いますが、表示は接続したストレージ機器により異なります。
詳細は各ストレージ機器の取扱説明書を参照してください。

ここでは、例としてハードディスク、MOドライブを接続した場合を説明します。

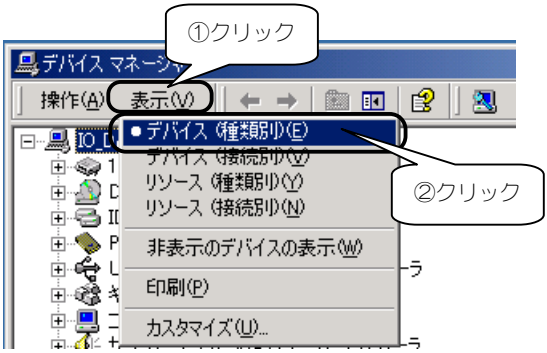
1 [マイコンピュータ]を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。



2 [ハードウェア]タブ、続けて[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

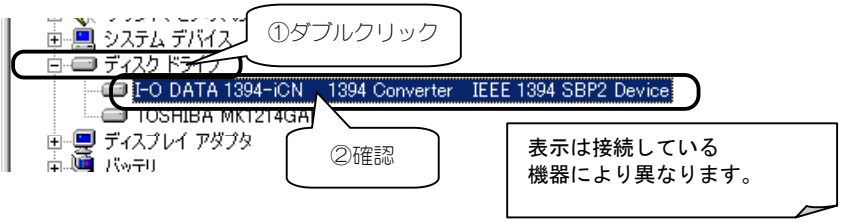


3 [表示]メニュー内の[デバイス（種類別）]をクリックします。



4 [ディスクドライブ]をダブルクリックし、その下に接続した機器が表示されていることを確認します。

※表示は接続したストレージ機器により異なります。詳細については、ストレージ機器の取扱説明書を参照するか、またはストレージ機器メーカーにご確認ください。

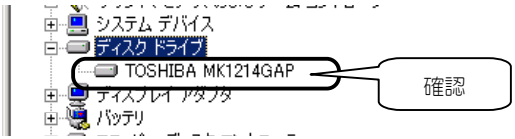


接続している機器がわからない場合は･･･

以下の手順で確認することができます。

1 **【補足 OS上で本PCカードを取り外す方法】(65ページ)を参照して、一旦本PCカードを取り外します。**

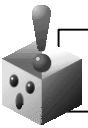
2 **取り外し後、前ページの手順で再度[ディスクドライブ]の表示を確認します。**



3 **本PCカードを取り付けます。**

4 **接続する機器の電源が入っていることを確認後、本PCカードに接続します。**

5 **再度、[ディスクドライブ]の表示を確認します。**
追加されているドライブ（の表示）が、本PCカードに接続した機器です。



機器の表示がない場合は…

116 ページ「接続したストレージ機器が…」をご参照ください。

5 [デバイスマネージャ]を閉じます。

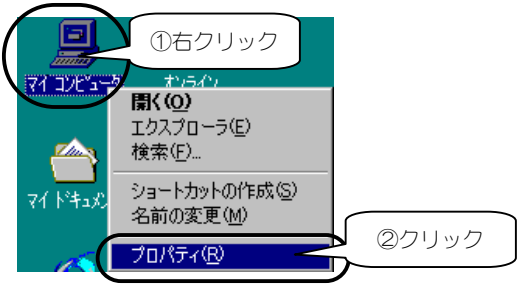
以上で、Windows 2000でのストレージ機器の接続の確認は終了です。

Windows Me/98 SEの場合

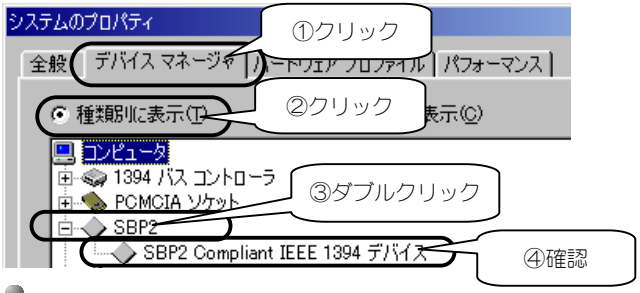
接続の確認は「デバイスマネージャ」画面で行いますが、表示は接続したストレージ機器により異なります。
詳細は各ストレージ機器の取扱説明書を参照してください。

ここでは、例としてハードディスク、MOドライブを接続した場合を説明します。

1 **[マイコンピュータ]を右クリックし、メニュー内の[プロパティ]をクリックします。**



2 **[デバイスマネージャ]タブをクリックし、[種類別に表示]で[SBP2]をダブルクリックし、[SBP2 Compliant IEEE 1394 デバイス]が表示されているかを確認します。**



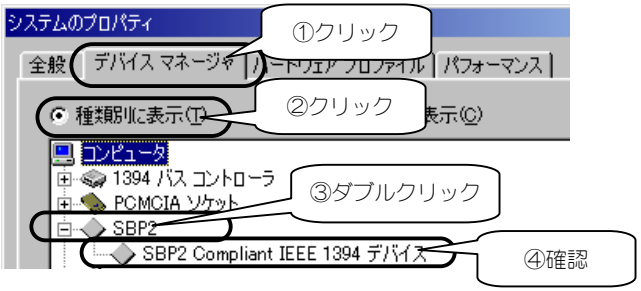
[SBP2]が見当たらない場合は…

116 ページ「[SBP2]の表示が…」をご参照ください。

[SBP2 Compliant IEEE 1394 デバイス]が見当たらない場合は…

116 ページ「[SBP2 Compliant IEEE 1394 デバイス…」をご参照ください。

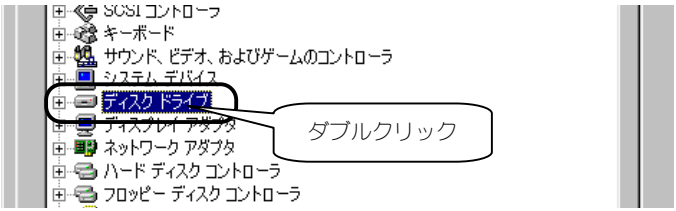
3 [デバイスマネージャ]タブをクリックし、[種類別に表示]で[SBP2]をダブルクリックし、[SBP2 Compliant IEEE 1394 デバイス]が表示されているかを確認します。



[SBP2]が見当たらない場合は… → 116 ページ「[SBP2]の表示が…」をご参照ください。

[SBP2 Compliant IEEE 1394 デバイス]が見当たらない場合は… → 116 ページ「[SBP2 Compliant IEEE 1394 デバイス…」をご参照ください。

4 [ディスクドライブ]をダブルクリックします。



5 接続したストレージ機器が表示されているかを確認します。表示されていれば、正常に認識されています。

※表示は接続したストレージ機器により異なります。詳細については、ストレージ機器の取扱説明書を参照するか、またはストレージ機器メーカーにご確認ください。



表示は接続している機器により異なります。

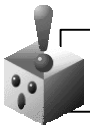
接続している機器がわからない場合は･･･

以下の手順で確認することができます。

1. **【補足 OS上で本PCカードを取り外す方法】(65ページ)を参照して、一旦本PCカードを取り外します。**
2. **取り外し後、前ページの手順で再度[ディスクドライブ]の表示を確認します。**



3. **本PCカードを取り付けます。**
4. **接続する機器の電源が入っていることを確認後、本PCカードに接続します。**
5. **再度、[ディスクドライブ]の表示を確認します。**
   追加されているドライブ（の表示）が、本PCカードに接続した機器です。



機器の表示がない場合は…

116 ページ「接続したストレージ機器が…」をご参照ください。

6 **[記憶装置]をダブルクリックし、その下に接続した機器が表示されていることを確認します。**

7 **[OK]ボタンをクリックします。**

以上で、Windows Me/98 SEでのストレージ機器の接続の確認は終了です。

ストレージ機器を取り外す場合

ストレージ機器は、以下または次ページの手順にしたがって、取り外すことができます。

● 取り外し手順　ーその１ー

本PCカードを取り外した後に、ストレージ機器を取り外す手順です。

1 【補足 OS上で本PCカードを取り外す方法】(65ページ)を参照して、本PCカードを取り外します。

注意

・パソコンの電源が入っている状態でも取り外せます。
・取り外す際には、必ずケーブルのコネクタを持って取り外してください。ケーブルを引っ張って取り外さないでください。
・ストレージ機器が動作していないこと（読み込み・書き込み等を行っていないこと）を確認した上で取り外してください。
・ストレージ機器を操作するアプリケーションを終了してから取り外してください。
・ストレージ機器の後にさらにストレージ機器をデイジーチェーン接続して使用している場合は、後のストレージ機器を先に取り外してください。
・ストレージ機器を含む複数の1394機器をデイジーチェーン接続した場合は、他の機器が動作している時に、動作していない機器のケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。

2 本PCカードに接続しているケーブルを取り外します。

3 ケーブル取り外し後、ストレージ機器の電源を切ります。

● 取り外し手順　ーその２ー

ストレージ機器のみを取り外す手順です。
この場合、次ページの【ストレージ機器の取り外し準備】の手順（ストレージの停止）を行った後で、本PCカードに接続しているケーブルを取り外してください。ケーブル取り外し後、ストレージ機器の電源を切ってください。

1　次ページを参照して、ストレージ機器の取り外し準備手順（ストレージの停止）を行います。

注意

・パソコンの電源が入っている状態でも取り外せます。
・取り外す際には、必ずケーブルのコネクタを持って取り外してください。ケーブルを引っ張って取り外さないでください。
・ストレージ機器が動作していないこと（読み込み・書き込み等を行っていないこと）を確認した上で取り外してください。
・ストレージ機器を操作するアプリケーションを終了してから取り外してください。
・ストレージ機器の後にさらにストレージ機器をデイジーチェーン接続して使用している場合は、後のストレージ機器を先に取り外してください。
・ストレージ機器を含む複数の1394機器をデイジーチェーン接続した場合は、他の機器が動作している時に、動作していない機器のケーブルを取り外したり、電源を切ることはおやめください。

2　本PCカードに接続しているケーブルを取り外します。

3　ケーブル取り外し後、ストレージ機器の電源を切ります。

ストレージ機器の取り外し準備
（ストレージ機器の停止）

1 ストレージ機器が動作していないことを確認します。

2 タスクトレイのアイコンをクリックします。


Windows XP


Windows 2000

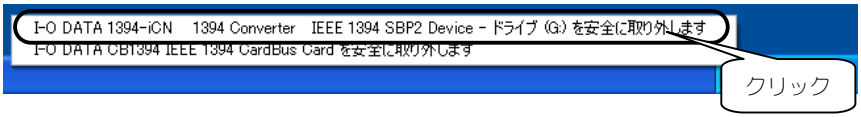

Windows Me/98

3 以下のように表示される項目をクリックします。

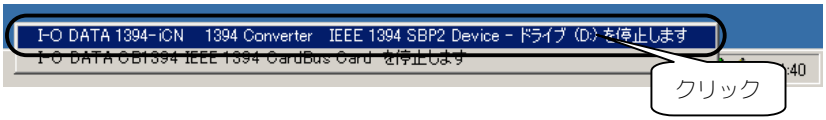
Windows XPの場合、［xxxxxxx を安全に取り外します］と表示されます。
Windows 2000/Meの場合、［xxxxxxx を停止します］と表示されます。
Windows 98 SEの場合、［Stop 1394/USB xxxxxxx］と表示されます。

※'xxxxxxx'の箇所は、お使いのストレージ機器により異なります。

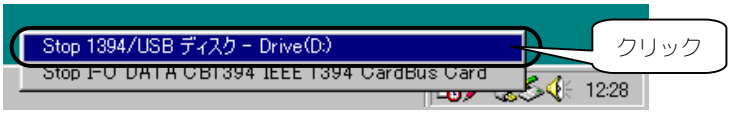
（Windows XP での表示例）



（Windows 2000/Me での表示例）



（Windows 98 SE での表示例）



注意

上記手順を行うと本PCカードと接続しているストレージ機器の動作をすべて停止します。

4 [OK]ボタンをクリックします。



「取り外しができません」というようなメッセージが表示された場合は…

117 ページ「本 PC カードやストレージ機器の…」をご参照ください。



１分以上待っても上記のメッセージが表示されない場合は…

117 ページ「本 PC カードやストレージ機器の…」をご参照ください。

以上で、ストレージ機器の停止の手順は終了です。

ふろく

正常に動作しない場合 …… 114

ドライバソフトのインストールがうまくできなかった場合や、本PCカードを使用中に、異常があったときにご覧ください。

本PCカードに２台以上の機器を接続する場合 …… 120

本PCカードに２台以上の機器を接続する場合について説明します。

用語解説 …… 124

本PCカードに関連する用語について説明します。

仕様 …… 125

本PCカードの仕様の一覧です。

オプション品 …… 126

別売のACアダプタ「1394L-ACADP」のご紹介です。

正常に動作しない場合

本PCカードを使用していて異常があった場合にご覧ください。

弊社ホームページをご覧ください

サポートWebページ内には、過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q&A
Newsなど

添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新
サポートソフト

状態	参照ページ
インストール画面が表示されない	
・[1394バスホストコントローラ]の表示がない　(Windows XP/2000の場合) ・[1394バスコントローラ]の表示がない　(Windows Me/98 SEの場合)	115ページ
[イメージングデバイス]の表示がない	
[SBP2]の表示がない　(Windows 98 SEの場合のみ)	
[SBP2 Compliant IEEE 1394 デバイス]の表示がない　(Windows 98 SEの場合のみ)	
・[PCI OHCI Compliant IEEE…]もしくは[VIA OHCI Compliant IEEE…]の頭に！マークや×マークがある ・[I-O DATA CB1394 IEEE 1394 CardBus Card]の頭に！マークや[×]マークがある	116ページ
接続したストレージ機器が[デバイスマネージャ]の[ディスクドライブ]に表示されない	
・本PCカードやストレージ機器の取り外しの際に、「取り外しができません」と表示される ・本PCカードやストレージ機器の取り外しの際に、１分以上待っても、取り外し許可のメッセージが表示されない	117ページ
Windowsを終了後、「Windowsを終了しています」の表示のまま止まってしまう　(Windows Me/98 SEの場合のみ)	

インストール画面が表示されない

原因 インストールが終了している

対処 本PCカードのインストールが正常に終了すると、次回からインストール画面は表示されません。

原因 本PCカードがPCカードスロットに正しく取り付けられていない

対処 1 確実に取り付けられていることを再度ご確認ください。

対処 2 本PCカードを別のPCカードスロットに取り付け直してお試しください。

・[1394 バスホストコントローラ]の表示がない（Windows XP/2000 の場合）
・[1394 バスコントローラ]の表示がない　（Windows Me/98 SE の場合）

原因 単に表示されていないだけの場合があります

対処 パソコンを再起動して、もう一度確認してみてください。

原因 本PCカードがPCカードスロットに正しく取り付けられていない

対処 1 確実に取り付けられていることを再度ご確認ください。

対処 2 本PCカードを別のPCカードスロットに取り付け直してお試しください。

[イメージングデバイス]の表示がない

原因 Windows 98をお使いの場合で、OSがWindows 98 SEではない

対処 6ページの確認方法でOSがWindows 98 SEかをご確認ください。

原因 ケーブルが正常に挿入されていない

対処 DVケーブルを一度抜き挿ししてみてください。

原因 DV機器が動作していない

対処 DV機器の電源が入っているか確認してください。

原因 本PCカードが正しく動作していない

対処 本PCカードを別のPCカードスロットに挿入しなおしてみてください。

[SBP2]の表示がない　（Windows 98 SE の場合のみ）

原因
ケーブルが正常に挿入されていない

対処
1394ケーブルを一度抜き差ししてみてください。

原因
ストレージ機器が動作していない

対処
ストレージ機器の電源が入っているか確認してください。

原因
本PCカードが正しく動作していない

対処
本PCカードを別のPCカードスロットに挿入しなおしてみてください。

[SBP2 Compliant IEEE 1394 デバイス]の表示がない（Windows 98 SE の場合のみ）

原因
Windows 98 SEのアップデートが行われていない

対処
【Windows 98 SE自体をさらにアップデートする】(16ページ)を参照してアップデートしてください。

・[PCI OHCI Compliant IEEE・・・・・]もしくは[VIA OHCI Compliant IEEE・・・・・]の頭に!マークや×マークがある
・[I-O DATA CB1394 IEEE 1394 CardBus Card]の頭に!マークや×マークがある

原因
本PCカードと他のデバイスのリソースが競合もしくは共有(シェアリング)されている場合、正常に動作しない場合があります。

対処
使用していない機能やPCカードがあれば、取り外したり、無効にしてみてお試しください。（詳細はパソコンメーカーにご確認ください。）

接続したストレージ機器が[デバイスマネージャ]の[ディスクドライブ]に表示されない

原因
正しく接続されていない

対処
【補足 OS上で本PCカードを取り外す方法】(65ページ)を参照して、一旦本PCカードを取り外します。
再度本PCカードをPCカードスロットに挿入後、ストレージ機器の電源を入れ、本PCカードに接続し直してみてください。

・本 PC カードやストレージ機器の取り外しの際に、「取り外しができません」と表示される
・本 PC カードやストレージ機器の取り外しの際に、1分以上待っても、取り外し許可のメッセージが表示されない

原因 接続している機器をアプリケーションから使用している可能性があります。

対処 1 使用中のアプリケーションをすべて終了した後に、もう一度取り外し手順を行ってみてください。

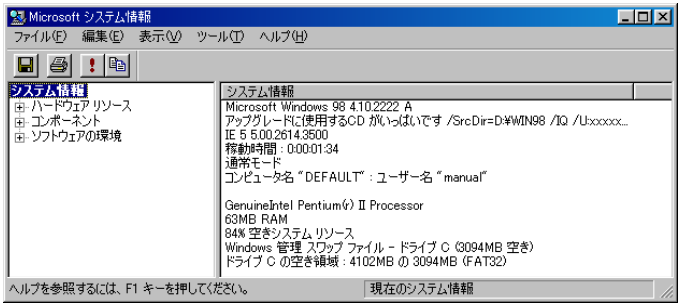
対処 2 Windowsを終了した後に、取り外してください。

Windows を終了後、「Windows を終了しています」の表示のまま止まってしまう （Windows Me/98 SE の場合のみ）

Windows の終了を行ったにもかかわらず、「Windowsを終了しています」の表示のままで止まってしまう場合があります。その際には、下記の対処をお試しください。

対処 1
本PCカードが起因する問題か否かをテストします。
本PCカードを取り外し、現象が改善されるかどうかを確認してください。
現象が改善された場合は、以下の対処２をお試しください。
現象が改善されない場合は、パソコン本体メーカーにお問い合わせください。

対処 2
① 本PCカードがセットされた状態で、[スタート]→[プログラム]→[アクセサリ]→[システムツール]より「システム情報」を起動します。

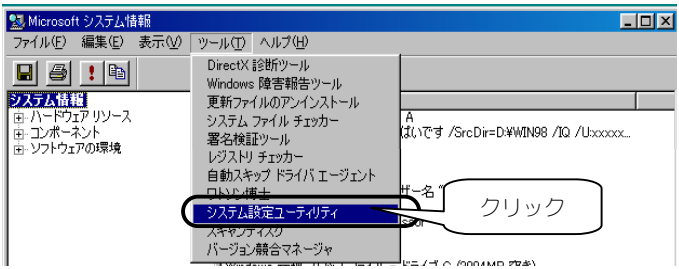


（次ページへつづく）

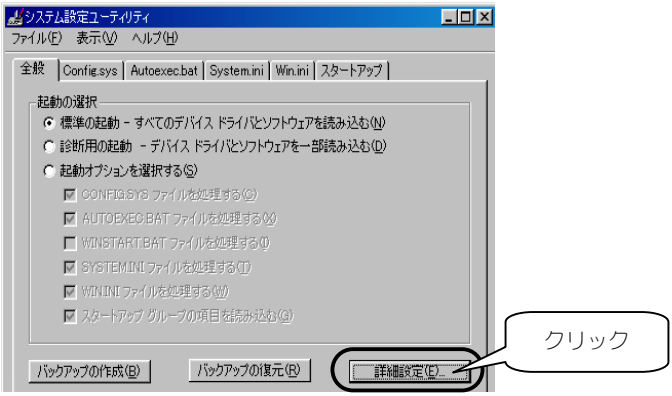
対処 2

（前ページからのつづき）

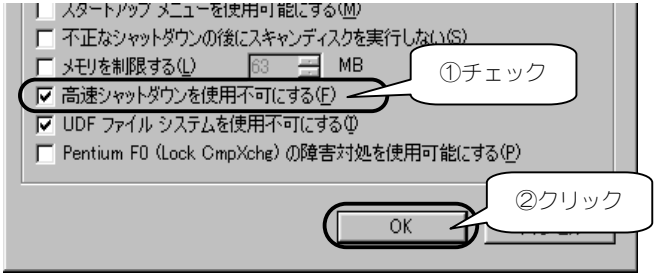
② [ツール]メニューの[システム設定ユーティリティ]をクリックします。



③ [詳細設定]をクリックします。



④ [高速シャットダウンを使用不可にする]にチェックを入れ、[OK]ボタンをクリックします。



以上の設定後、再起動し、現象が改善されるかご確認ください。

対処 3

以上の対処１および対処２でも現象が改善されない場合、Microsoft社より「Windows 98 SE Shutdown Supplement」が提供されております。
詳しくは下記URLを参照してください。

http://www.microsoft.com/japan/win98/downloads/shutdown.htm

注意！

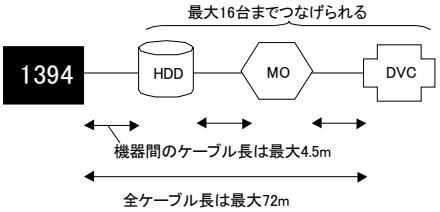
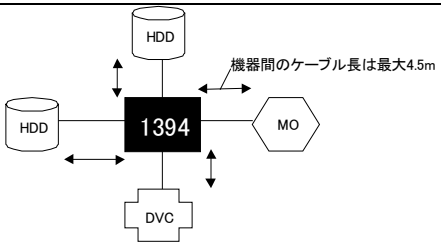
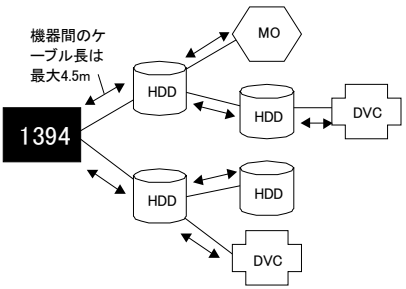
・上記URLに関する問い合わせの受け付けは弊社では行っておりません。
使用上の注意をよくお読みになった上でご使用ください。
・ホームページのアドレスは予告なしに変更または、中止になる場合があります。

本PCカードに２台以上の機器を接続する場合

ここでは、本PCカードに2台以上の機器を接続する場合の接続形態による制限事項等を説明します。

1394機器の接続方法

1394機器の接続方法には、デイジーチェーン接続、スター接続、ツリー接続があります。

接続方法	接続例
デイジーチェーン （機器同士を数珠状に接続する方法）	
スター （1394インターフェイスを中心にスター(星)状に接続する方法）	
ツリー （各機器から枝別れさせて接続する方法）	

1394 ：本PCカード等の1394インターフェイス

HDD ：ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸ

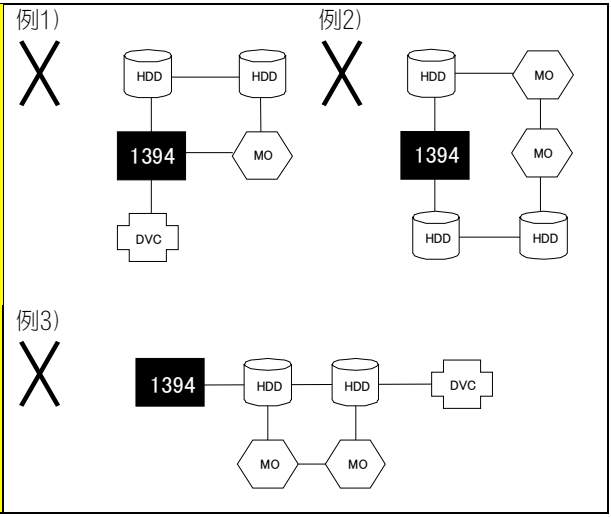
MO ：MOﾄﾞﾗｲﾌﾞ

DVC ：DVC（ﾃﾞｼﾞﾀﾙﾋﾞﾃﾞｵｶﾒﾗ）

以下の①および②の様な接続で機器を使用することははできません。

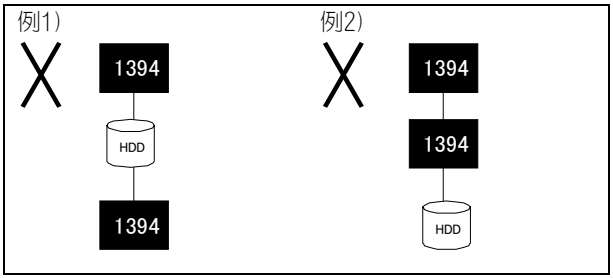
①ループ接続

ループ
（1394インターフェイスおよび機器間をループ状に接続する方法）



②ドライブ機器を複数のパソコンで共有して使用

下記のような接続の場合、基本的には先にハードディスクを認識したパソコンでしかハードディスクを使用することができない、もしくは両方のパソコンでアクセスができなくなる場合があります。



接続可能台数とケーブル使用可能本数

本PCカードには、最大63台の1394機器を接続することができます。
（デイジーチェーン接続のみでは16台まで）

注意

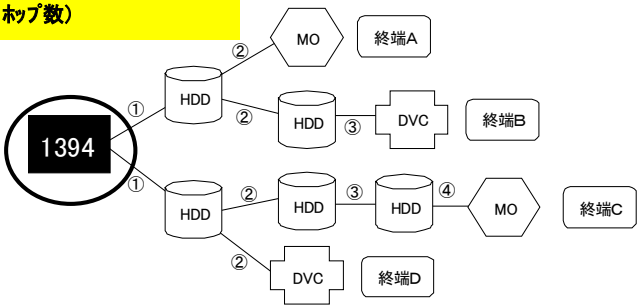
IEEE 1394の仕様としては1394機器を63台接続できますが、Windows 側のドライブアサイン（ドライブ番号）の問題等で純粋にハードディスク等のストレージ機器を63台接続してもすべてを使用することはできません。

また、1394インターフェイスから終端の機器間で使用できるケーブル数は最大16本（最大16ホップ）です。

ホップとは？

ある単位の1394機器から他の1394機器をながめた時、中間に何台の機器が接続されているかをカウントする場合に、使用する用語です。
実際には、中間の台数だけでなく、最後の1台もカウントに含めます。

本PCカードから見たケーブル数（ホップ数）

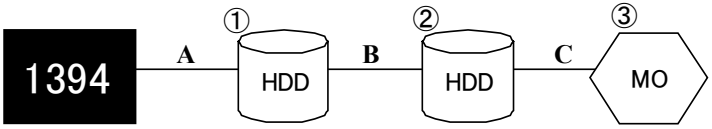


例えば、本PCカードから
終端AのMOドライブまでのケーブル数（ホップ数）は2
終端BのDVCまでのケーブル数（ホップ数）は3
だと分かります。

複数の機器を接続中に取り外すには

パソコンに複数のIEEE 1394機器を接続している場合、取り外す際に注意が必要です。

下の図のように連続したIEEE 1394機器がある場合は、取り外す機器より後ろのIEEE 1394機器をすべて「停止」（取り外す前の作業）を行ってから、取り外してください。（詳細は、【ストレージ機器を取り外す場合】(109ページ)を参照してください。）



例えば、①の機器のみを取り外す場合は、

1. ②と③を「停止」します。
2. ①を「停止」します。
3. **A**を取り外します。
4. **B**をIEEE 1394ポートに接続します。

③を取り外す場合は、

1. ③を「停止」します。
2. **C**を取り外します。

用語解説

DV方式

HDデジタルVCR評議会により標準化されたビデオ映像をデジタルデータの形式で圧縮しテープに記録する規格。SD仕様と高品位規格のHD仕様があり、
本PCカードではSD仕様に対応している。
このDV規格は規格書の色から通称"Blue Book"と呼ばれることも多い。

DV-SD仕様の特徴
　映像データ形式はYUV=4:1:1(NTSC)または4:2:0(PAL)で圧縮率1/5
　音声データ形式は16bit/48KHz(2ch)と12bit/32KHz(4ch)の２種類

DV端子

主に民生用のDV機器に使われているデジタル映像の入出力端子で、4pin形状のコネクタが採用されている。

IEEE 1394（アイトリプルイー）

パソコン周辺機器の高速データ転送用の技術としてApple社で開発が始まり、IEEE(米国電気電子技術者協会)により正式規格として制定された規格。
その規格番号から一般的にIEEE 1394と呼ばれる。
SONYがデジタルビデオカメラのインターフェイスとして採用したことで家電業界を中心に普及が進んでいる。

i.LINK（アイ　リンク）

IEEE 1394-1995仕様およびその拡張仕様の名称としてSONYが提唱している呼称。

仕様

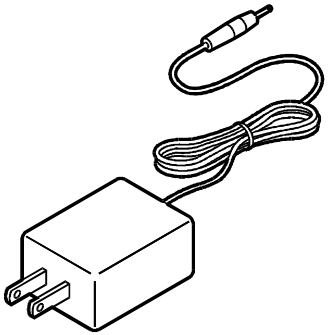
インターフェイス	IEEE 1394-1995、1394a-2000、1394-OHCI準拠
IEEE 1394端子	6ピン×3ポート
転送方式	Asynchronous※／Isochronous※
転送速度	100/200/400Mbps
IEEE 1394機器への供給電源	12V/1.2A……3ポートの合計値 *別売のACアダプタ（1394L-ACADP）をご使用ください。
割り込み（IRQ）	Plug & Playシステムによる自動設定(1ヶ使用)
パソコン側インターフェイス	PCカード規格準拠TypeⅡ CardBusスロット
消費電流	+3.3V…最大0.3A
動作環境（温度）	+5℃～+35℃
動作環境（湿度）	20%～80%
サイズ	119mm×54mm×19mm
質量	50g

※ Isochronous転送方式 ：125μ秒毎に一定量のパケットを送受信を行う方式。
映像データや音声データなどに向いています。
Asynchronous転送方式：Isochronous転送方式に比べて優先順位が劣ります。
ファイル転送などに使われます。

オプション品

本PCカードでバスパワーの機器を使用する場合には、以下の別売のACアダプタ「1394L-ACADP」を別途ご購入ください。

1394L-ACADP・・・・12V、1.2Aを供給



旧製品1394-ACADPは「CB1394」用です。
コネクタサイズが異なりますので、CB1394Lシリーズにはご使用いただけません。

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターで受け付けています。

① まず、弊社ホームページをご確認ください。

本書【困った時には】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、Newsその他」もご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

http://www.iodata.jp/support/

製品Q&A
Newsなど

添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

最新
サポートソフト

② それでも解決できない場合は…

住所： 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター

電話： 本社…**076-260-3688** 東京…**03-3254-1095**
※受付時間 9:30～19:00 月～金曜日（祝祭日を除く）

FAX： 本社…**076-260-3360** 東京…**03-3254-9055**

インターネット： http://www.iodata.jp/support/

・お知らせいただく事項について

サポートセンターへお問い合わせいただく際は、事前に以下の事項をご用意ください。

1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用のパソコン本体の型番
3. ご使用のOSとサポートソフトのバージョン
4. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

サービス品に関するお問い合わせ

サービス品については、以下へお問い合わせください。

サービス品に関するお問い合わせ

添付のサービス品「VideoStudio」、「PhotoImpact」および「COOL 3D」に関しては、ユーリード社まで

●お問い合わせ先

ユーリードシステムズ株式会社ユーザーサポート係

電話番号	**03-5491-5662**
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ	**http://www.ulead.co.jp/**
E-mail	**上記インターネットのサポートページより お問い合わせください。**

受付時間　　平日 10:00～12:00　13:00～17:00

修理について

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料にて修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、シリアル番号（製品に添付されています）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
　※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
・下記の内容を書いたもの
　返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
　ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上記で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
　※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は下記の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。
　※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。
　※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

CB1394Lシリーズ 取扱説明書
2003.10.14　112423-02
発　行　　株式会社アイ･オー･データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

©2002-2003 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。